

入札説明書

市が行う建設工事の工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則(平成17年米子市規則第106号)及び米子市会計規則(平成17年米子市規則第44号)を承知のうえ参加してください。

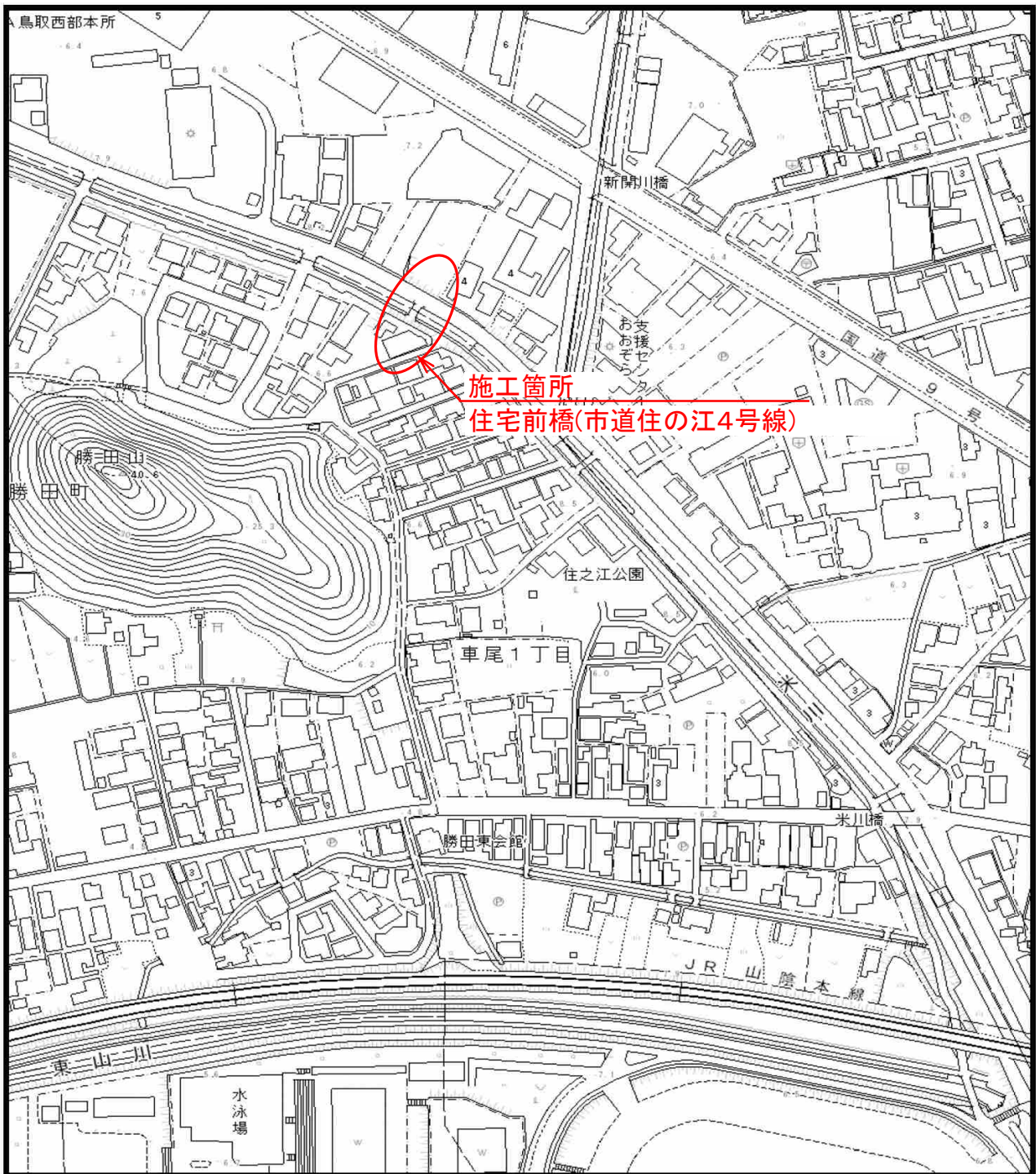
記

工事希望型指名競争入札に付する工事	工事名	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事		
	工事場所	米子市勝田町地内ほか	工期	契約日から 令和6年2月29日まで
契約条項を示す場所	担当課	米子市総務部契約検査課		
入札保証金に関する事項	入札保証金	免除		
現場説明会	なし			
開札の日時及び場所	日時 場所	令和5年10月17日 午前9時40分 本庁舎202会議室 開札		
契約保証に関する事項	<p>請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。</p> <p>(1) 契約保証金の納付                  (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供                  (3) 銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。)の保証                  (4) 公共工事履行保証証券による保証                  (5) 履行保証保険契約の締結</p>			
前払金	有	40%以内 ※ただし、請負代金の額が130万円を超える場合に限る		
部分払	有	回数は、米子市建設工事執行規則による ※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する注意事項	<p>1. 開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。</p> <p>2. 入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。</p> <p>3. 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。</p> <p>4. 入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。</p> <p>5. 入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。</p> <p>6. 落札となるべき価格と同一価格の入札をしたものが2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて、落札者を決定するものとする。この場合において、くじを引くべき入札者が、当該入札の立会者として参加している場合はその者が、参加していない場合は入札事務に関与しない職員に当該入札者に代わってくじを引かせるものとする。</p> <p>7. 本件工事は、米子市建設工事最低制限価格設定要領に定める方法により、予定価格の2/3(ただし、8/10を下回る場合は、8/10とする。)以上で最低制限価格を設定しており、最低制限価格を下回る価格で入札があった場合は、当該入札者を失格とし、予定価格の範囲内の価格で入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とする。</p> <p>8. 入札書に工事費内訳書が同封されていない場合は、無効とする</p> <p>9. 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格(円未満切捨て(単価契約を除く。))とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積った契約希望価格の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。</p> <p>10. 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはならない。</p> <p>11. 入札回数は、1回とする。</p>			
その他の注意事項	<p>1. 米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。</p> <p>2. 申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。</p> <p>3. 同一の主任技術者は、米子市が発注した工事(通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。)に3件を超えて従事することはできないものとする。</p> <p>4. 別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。</p> <p>5. 工事現場に配置する技術者等(主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。)は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係(第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。)が申込日までに3ヶ月以上ある者に限るものとする。</p>			
施工に関する注意事項	<p>1. 工事設計図書 別紙のとおり</p> <p>2. 本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。</p> <p>3. この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するよう努めること。</p> <p>4. 工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。</p>			
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格		¥34,527,900		
最低制限価格		(直接工事費+共通仮設費+現場管理費の9/10+一般管理費5.5/10)×1.1		

# 工 事 設 計 書

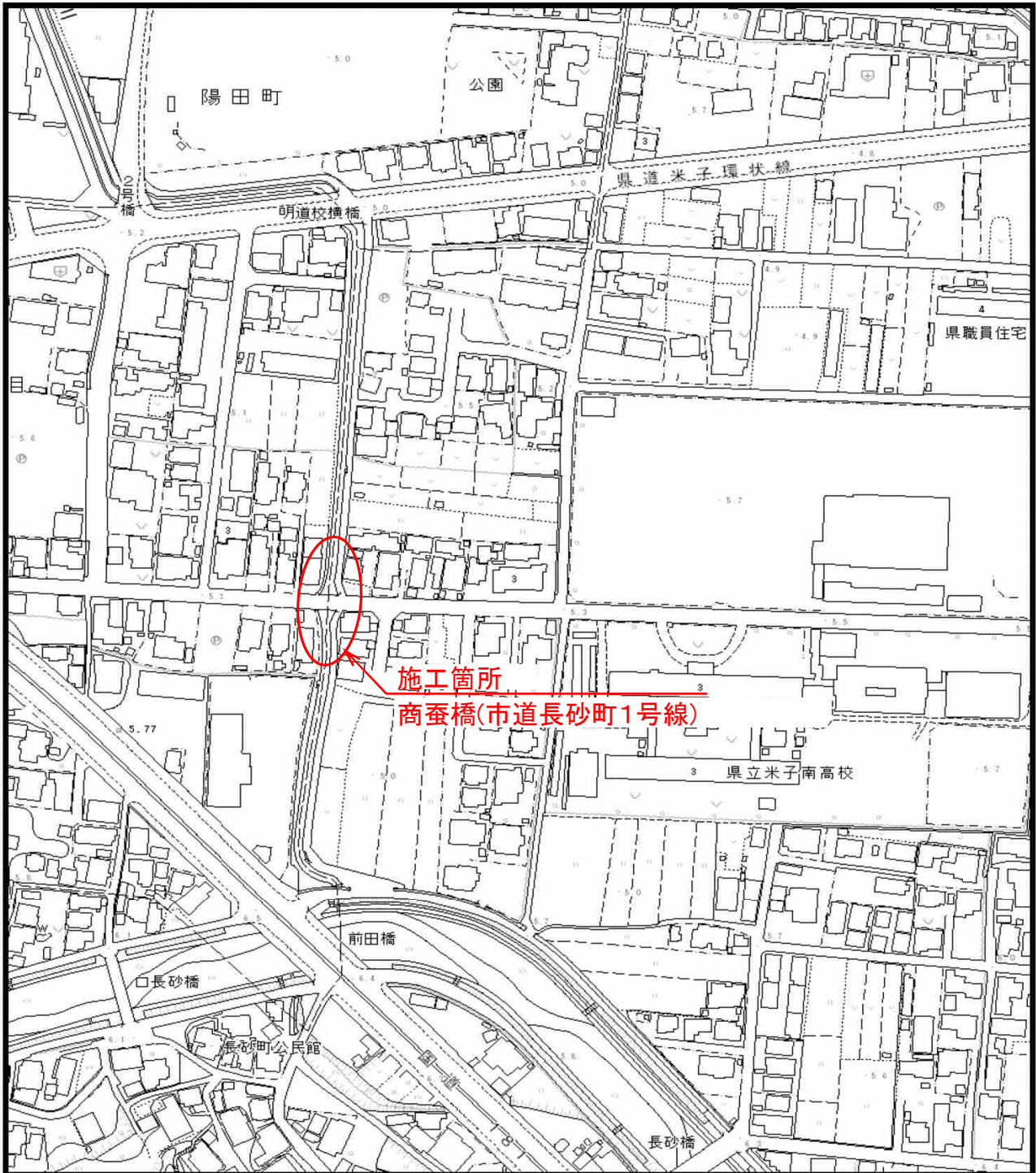
令和 5 年度	工事名	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事				
		部長	課長	担当課長補佐	審査	設計
設計金額	円					
工 期	契約日 から 令和6年2月29日 まで					
工 事 場 所	米子市 勝田町 地内ほか					
工 事 概 要	住の江4号線住宅前橋 橋長L=7.0m 幅員W=4.7m	長砂町1号線商蚕橋 橋長L=8.3m 幅員W=7.3m	米子駅目久美町線足尾橋 橋長L=20.9m 幅員W=16.8m			
	橋梁附属物工 一式	橋梁附属物工 一式	橋梁附属物工 一式			
	橋梁補修工 一式	橋梁補修工 一式	舗装補修工 一式			
	仮設工 一式	仮設工 一式	仮設工 一式			

# 位置図 住宅前橋



# 位置図

## 商蚕橋





工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事				事業区分	橋りょう補修	
					工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
		単位	数値				
本工事費							
橋梁保全工事【住宅前橋】			式				
橋梁付属物工			式				
水切り工			式				
	水切り工	水切り設置工 ウォーターカッター相当品	m	1		13	
防護柵補修工			式				
	防護柵取換工	ガードレール取換工（レーンのみ） C種 撤去	m	1		14	
		ガードレール取換工（レーンのみ） C種 取付	m	1		14	
	殻運搬	現場発生品・支給品運搬 運搬距離2.1km	回	1		1	
	殻処分	スクラップ ヘビーH1	t	0.1		0.1	
橋梁補修工			式				
ひび割れ補修工			式				
	低圧注入工法	ひび割れ補修工 補修延べ延長7.5m	構造物	1		1	
断面修復工			式				
	左官工法	断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含む 修復延べ体積0.106m3	構造物	1		1	
	殻運搬	殻運搬 運搬距離5.9km	m3	0.1		0.1	
	殻処分	Co殻処分費 無筋	t	0.1		0.3	
橋面防水工			式				
	薄層舗装工	薄層遮断性舗装	m2	1		24	
仮設工			式			1	
橋梁保全工事【商蚕橋】			式				
橋梁付属物工			式				
水切り工			式				
	水切り工	水切り設置工 ウォーターカッター相当品	m	1		15	
防護柵補修工			式				
	防護柵撤去	コンクリート親柱、コンクリート高欄支柱	m3	0.1		0.4	
	殻運搬	現場発生品・支給品運搬 運搬距離2.2km	回	1		1	
	殻処分	スクラップ ヘビーH1	t	0.1		0.1	

## 工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事				事業区分	橋りょう補修	
					工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
		単位	数値				
	防護柵設置	ガードレース (ベースプレート式) H=1150mm Gr-C-2B-4 (白) 特殊	m	1		15	
橋梁補修工			式				
ひび割れ補修工			式				
	低圧注入工法	ひび割れ補修工 補修延べ延長19.9m	構造物	1		1	
断面修復工			式				
	左官工法	断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含む 修復延べ体積0.854m <sup>3</sup>	構造物	1		1	
	左官工法	断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含まない 修復延べ体積0.016m <sup>3</sup>	構造物	1		1	
	殻運搬	殻運搬 運搬距離7.0km	m <sup>3</sup>	1		1	
	殻処分	Co殻処分費 無筋	t	1		3	
路面補修工	舗装ひびわれ注入工	加熱型舗装ひびわれ注入	m	1		35	
仮設工			式			1	
橋梁保全工事【足尾橋】			式				
橋梁付属物工			式				
水切り工			式				
	水切り工	水切り設置工 ウォーターカッター相当品	m	1		39	
高欄取替工			式				
	防護柵撤去	高欄撤去	m	1		42	
	はつり工		m <sup>3</sup>	0.1		0.1	
	復旧工	ポリマーセメントモルタル	m <sup>3</sup>	0.1		0.1	
	支給品運搬	現場発生品運搬 運搬距離14.4km	回	1		1	
	橋梁用高欄	アルミ製高欄 (角型) H=800 レベル用	m	1		42	
	殻運搬	支給品運搬 運搬距離2.1km	回	1		1	
	殻処分	スクラップ ヘビーH1	t	1		1	
伸縮装置補修工							
	伸縮装置	車道部：除雪対応型 伸縮量40mm	m	1		8	
		車道部：除雪対応型 伸縮量20mm	m	1		8	
		歩道部：伸縮量400mm	m	1		16	
	目地材補修工	地覆部変性シリコン系シーリング材	L	1		2	

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事				事業区分	橋りょう補修	
					工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
		単位	数位				
	現場支給品運搬	伸縮装置	t	1		1	
	殻運搬	殻運搬 運搬距離9.5km	m3	1		3	
	殻処分	Co殻処分費 有筋	t	1		7	
舗装補修工			式				
取壊し工			式				
	路面切削	全面切削6cm以下 段差すりつけの撤去作業有り	m2	10		180	
	舗装版破砕(車道部)	アスファルト舗装版 障害有り 舗装版厚4cm以下	m2	10		180	
	舗装版破砕(歩道部)	アスファルト舗装版 障害有り 舗装版厚15cm以下	m2	10		130	
	殻運搬	路面切削 運搬距離:12.5km	m3	1		9	
		舗装版破砕 運搬距離:12.5km	m3	1		7	
	殻処分	As殻処分費	t	1		38	
掘削工			式				
	掘削	土砂 小規模 標準	m3	10		30	
残土処理工			式				
	土砂等運搬	土砂 小規模 運搬距離:10.0km	m3	10		30	
	残土等処分		m3	10		30	
路側工							
	歩車道境界ブロック撤去	処分	m	1		43	
	歩車道境界ブロック設置	C種 高欄兼用車両用防護柵 基礎砕石無し	m	1		40	
	殻運搬	殻運搬 運搬距離7.2km	m3	1		1	
	殻処分	Co殻処分費 無筋	t	1		3	
橋面防水工			式				
	橋面防水工	塗装系防水材料	m2	10		320	
	橋面防水材料費		式	1		1	
仮設工			式			1	



## 1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

## 2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

## 3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
  - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
  - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

## 4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

## 5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成17年11月15日付第200500080172号県土整備部長通知）によること。

## 6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

## 7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

## 8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

## 9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

## 10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

## 11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

## 12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

## 13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

## 14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に加入するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

## 15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

## 16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

## 17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

## 18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第25条第5項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第26条第5項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第26条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第25条」と読み替えるものとする。

契約書第25条第6項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第25条第6項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

# 現場説明書

令和5年4月1日改正  
特記事項1

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ _____	
工程	① (他工事等との調整) ② ( <del>部分完成、着工保留</del> ) ③ (施工時間) ④ ( <del>余裕期間設定工事</del> ) ⑤ ( <del>鋼材の調達の遅れによる工期の延長</del> ) ⑥ (週休2日モデル工事)	<p><u>足尾橋の補修</u>については、<u>市道米子駅目久美町線道路整備工事(ウォークアブル推進事業)</u>と関連するので相互の連絡を密にすること。</p> <p>_____については、_____まで_____ (すること ・ しないこと)。</p> <p>_____ <u>本工事</u>の施工時間は、<u>8:30 ~ 17:00</u>とする。</p> <p>本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領(令和3年4月1日施行)の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。</p> <p>工期については、調達公告のとおりとする。</p> <p>この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。</p> <p>本工事は、米子市「週休2日工事モデル工事」試行実施要領(土木工事)(令和3年4月1日施行)の対象工事である。モデル工事を選択する場合は、工事着手日までに発注者に協議をすること。選択後の取扱いについては、同要領の規定による。</p>
用地関係	① ( <del>用地・物件等未処理</del> )	<p>本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。</p> <p>なお、_____頃_____の予定である。</p>
支障物件	① (埋設物等の事前調査) ② ( <del>支障物件</del> ) ③ ( <del>立木の置き場所</del> )	<p>工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・調査済み]である。</p> <p>_____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。</p> <p>予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。</p> <p>工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。</p>
対公害	① (騒音振動対策)	<p>「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。</p> <p>本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。</p>
安全対策	① (交通安全施設等)	<p>一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。</p> <p>なお、交通整理の必要日数 <u>52</u> 日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計 _____名(交代要員[有・無])、交通誘導員Bを合計 <u>73</u> 名(交代要員[有・無])を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。</p> <p>警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。</p> <p>交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。</p> <p>なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置しているとみなす。</p>
排水濁水	① (濁水処理)	<p>工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。</p> <p>なお、これにより難しい場合は別途協議すること。</p>

# 現場説明書

特記事項2

	<p><b>【建設発生土 (処理)】</b></p> <p>① <del>(他工事等流用)</del></p> <p>② (建設技術センター)</p> <p>③ <del>(民間残土受入地)</del></p> <p>④ <del>(土質改良プラント)</del></p>	<p>建設発生土は__市・町・村__地内の__工事現場に運搬 (片道運搬距離__km) するものとする。</p> <p>建設発生土は__<u>伯耆</u>__市・町・村__<u>小町</u>__地内のセンター事業所に運搬 (片道運搬距離__<u>10.0</u>__km) するものとする。なお、処理費として、1m<sup>3</sup>当たり__<u>1,740</u>__円__<u>                    </u>円をセンターに支払うこと。</p> <p>建設発生土は__<u>                    </u>__市・町・村__<u>                    </u>__地内の__<u>                    </u>__に運搬するものとする。なお、処理費として、1m<sup>3</sup>当たり__<u>                    </u>__円を支払うこと。</p> <p>建設発生土は__<u>                    </u>__市・町・村__<u>                    </u>__地内の__<u>                    </u>__運搬 (片道運搬距離__km) するものとする。なお、処理費として1m<sup>3</sup>当り__<u>                    </u>__円を__<u>                    </u>__に支払うこと。</p>
建設副産物の処理	<p><b>【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材 (処理)】</b></p> <p>⑤ (分別解体等)</p> <p>⑥ <del>(他工事等流用)</del></p> <p>⑦ (再資源化施設への搬出)</p> <p style="text-align: center;">(施設の名称・受入れ費用)</p> <p style="text-align: center;">(受入れ時間帯)</p> <p style="text-align: center;">(受入れ条件)</p> <p>⑧ <del>(木材市場等へ売却)</del></p> <p>⑨ <del>(最終処理等)</del></p> <p>⑩ <del>(産業廃棄物の処理に係る税)</del></p>	<p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。</p> <p>なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。</p> <p>コンクリート塊 1m<sup>3</sup>当り__<u>                    </u>__円</p> <p>アスファルト塊 1m<sup>2</sup>当り__<u>                    </u>__円</p> <p>建設発生木材 1m<sup>3</sup>当り__<u>                    </u>__円</p> <p>[Co 雑割材・<u>                    </u>]は、__<u>                    </u>__市・町・村__<u>                    </u>__地内__<u>                    </u>__工事現場に運搬 (片道運搬距離__<u>                    </u>__km) するものとする。</p> <p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。</p> <p>再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。</p> <p>なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。</p> <p>コンクリート塊 (無筋) <u>米子</u> 市・町・村 <u>夜見町</u> 地内の (有大成商事) (運搬距離: 工事数量総括表記載)、費用 1t 当り <u>1,300</u> 円</p> <p>コンクリート塊 (有筋) <u>米子</u> 市・町・村 <u>淀江町小波</u> 地内の (株丸福) (運搬距離: 工事数量総括表記載)、費用 1t 当り <u>1,200</u> 円</p> <p>アスファルト塊 <u>米子</u> 市・町・村 <u>和田町</u> 地内の カネックス(株) (運搬距離: 工事数量総括表記載)、費用 1t 当り <u>1,300</u> 円</p> <p>建設発生木材 <u>                    </u> 市・町・村 <u>                    </u> 地内の <u>                    </u> (運搬距離__<u>                    </u>__km)、費用 1t 当り__<u>                    </u>__円</p> <p>8時～17時 (平日)</p> <p>ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。</p> <p>イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。</p> <p>ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径__<u>                    </u>__cm以下、長さ__<u>                    </u>__m以下であること。</p> <p>エ 2次公害発生の恐れがある物質 (廃油等) を含まないこと。</p> <p>建設発生木材は__<u>                    </u>__市・町・村__<u>                    </u>__地内の__<u>                    </u>__への搬出 (片道運搬距離__<u>                    </u>__km) を想定し、__<u>                    </u>__円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。</p> <p><u>                    </u>については、__<u>                    </u>__市・町・村__<u>                    </u>__地内の産業廃棄物処理場への搬出 (片道運搬距離__<u>                    </u>__km) を想定し、その費用として1t 当たり__<u>                    </u>__円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。</p> <p>産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。</p> <p>産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を__<u>                    </u>__円見込んでいる。</p>

# 現場説明書

特記事項3

建設副産物の使用	<p>① (建設発生土の使用)</p> <p>② (再生資材の使用)</p>	<p>_____ 工事から [当該工事運搬・相手方運搬] の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>1) C 〇雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>3) ・再生クラッシャーラン [規格： ] は、使用箇所：_____ に使用する。          ・再生コンクリート砂 [規格：RS- ] は、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>4) 再生加熱アスファルト混合物 [規格：再 ] は、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>5) その他再生資材 [資材名： ] [規格： ] は、使用箇所：_____ に使用する。</p>
工事用道路	<p>① (農地の一時転用について)</p>	<p>本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。</p> <p>【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】</p> <p>受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。</p>
仮設備		
その他	<p>① (支給品の運搬について)</p>	<p>足尾橋における橋梁用高欄及び伸縮装置は <u>米子市・町・村 淀江町福岡</u> 地内の <u>旧淀江町クリーンセンター</u> から運搬 (運搬距離：工事数量総括表記載) したものを使用する。</p>



建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

## 分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他( )		
工事の種類	<input type="checkbox"/> 新築工事 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・修繕工事 <input type="checkbox"/> 解体工事 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他( )		
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)	<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材		
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 不明 その他( )	
	周辺状況	周辺にある施設 <input checked="" type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他( ) 敷地境界との最短距離 約 1 m その他( )	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容		工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他( 河川、道路内での作業 )	
	搬出経路	障害物 <input type="checkbox"/> 有( ) <input checked="" type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 4m 通学路 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 その他( )	
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)	<input type="checkbox"/> 有( ) <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	その他	周辺住民への周知	
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設	仮設工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他( )	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 (解体工事のみ)	<input type="checkbox"/> 上の工程における⑤→④→③の順序 <input type="checkbox"/> その他( ) その他の場合の理由( )		
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)	トン		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)
		<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊	13.6トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
		<input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	38.1トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
		<input type="checkbox"/> 建設発生木材	トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他			
備考			

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。



## 積算参考資料

積算参考資料は、工事目的物を完成させるための手段を拘束するものではありません。

# 総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系 ファイル名	54 米子市 実施設計書      当初      05-*****-0007 -40 0 1 実施単価 30 米子市 0-05.09.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	38 橋梁保全工事 02 率計上する (市街地) 11 市街地(DID補正) 01 金銭保証 (0.04%) 01 豪雪割増あり 02 算出しない 01 週休二日補正なし				

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 【商蚕橋】		一式			Y1G03 (レベル1)
橋梁付属物工		一式			Y1G0321 (レベル2)
水切り工					Y3999 (レベル3)
水切り工					Y4999 (レベル4)
水切り設置工 E P D M系ゴム製水切り材 見積り	15	m			V0002 0 単第0-0001 表 050910
防護柵補修工		一式			Y3999 (レベル3)
防護柵取換工		一式			Y4999 (レベル4)
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	0.4	m3			SDT00031 0 A=1, B=1, C=2, D=1 単第0-0002 表 050910

# 本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場発生品・支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2t吊 片道運搬距離5.0km以下(2.0km超)	1	回			SPK22040408 0 A=1, B=2, C=7  単第0-0003 表 050910
スクラップ 鉄くず へビー H1	0.1	t			TTU0052 0  050910 8
防護柵設置工 Gr-C-2B-4(白)特殊 アンカーボルト含む	15	m			V0015 0  単第0-0004 表 050910
橋梁補修工		一式			Y1G0324 (レベル2)
ひび割れ補修工		一式			Y1G032404 (レベル3)
低圧注入工法		一式			Y1G03240402 (レベル4)
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合 エポキシ樹脂系1種	1	構造物			S1020035 0 A=11, B=10.36, C=13, D=4.78, E=14, F=83  単第0-0005 表 050910
断面修復工		一式			Y1G032405 (レベル3)
左官工法		構造物			Y1G03240501 (レベル4)

# 本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.854m <sup>3</sup>	1	構造物			S1020041 0 A=0.854, B=16, C=0.854 単第0-0006 表 050910
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m <sup>3</sup> 未満の場合	1	構造物			S1020043 0 A=16, B=0.016 単第0-0007 表 050910
殻運搬		m <sup>3</sup>			Y1G03040205 (レベル4)
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	1	m <sup>3</sup>			SPK22040142 0 A=1, B=1, C=2, D=34, E=1 単第0-0008 表 050910
殻処分		m <sup>3</sup>			Y1G03040206 (レベル4)
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
処分費 Con殻(無筋) 有大成商事	3	t			TTV0442 0 050910
路面補修工		一式			Y3999 (レベル3)
舗装ひび割れ注入工		一式			Y4999 (レベル4)

# 本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装ひびわれ補修工									V0016	0
	35		m						単第0-0009 表	050910
仮設工				一式					Y1G0328	(レベル2)
交通管理工				一式					Y1G032821	(レベル3)
交通誘導警備員				人					Y1G03282101	(レベル4)
交通誘導警備員B				人					R0369	0
	20		人							050910
橋梁保全工事 【足尾橋】				一式					Y1G03	(レベル1)
橋梁付属物工				一式					Y1G0321	(レベル2)
水切り工				一式					Y3999	(レベル3)
水切り工									Y4999	(レベル4)

# 本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水切り設置工 EPDM系ゴム製水切り材					V0002 0
見積り	39	m			単第0-0001 表 050910
橋梁用高欄工		一式			Y1G032106 (レベル3)
橋梁用高欄		m			Y1G03210601 (レベル4)
高欄撤去工 L ≤ 100m					V0090 0
R5橋梁架設工事の積算P4-52	42	m			単第0-0011 表 050910
コンクリートはつり 平均はつり厚3cmを超え6cm以下					SPK22040108 0 A=2, B=1
	0.1	m2			単第0-0012 表 050910
ポリマーセメントモルタル					F0000000016 0
県単価	0.1	m3			050910
現場発生品・支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2t吊 片道運搬距離20.0km以下(14.0km超)					SPK22040408 0 A=1, B=5, C=7
高欄(支給品)	1	回			単第0-0013 表 050910
橋梁用高欄 高欄(各種) 組立式 塗装					SPK22040292 0 A=1, B=2, C=22, D=19
	42	m			単第0-0014 表 050910
殻運搬					Y1G03040205 (レベル4)
		一式			

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
現場発生品・支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2t吊 片道運搬距離5.0km以下(2.0km超) スクラップ	1		回						SPK22040408 0 A=1, B=2, C=7 単第0-0003 表	050910
スクラップ 鉄くず へビー H1	1		t						TTU0052 0	050910 8
伸縮継手工				一式					Y1G032101 (レベル3)	
鋼・ゴム製伸縮装置補修				m					Y1G03210103 (レベル4)	
荷重支持型鋼製ジョイント 車道部, 除雪対応型, 伸縮量40mm	8.0		m						V0040 0 単第0-0015 表	050910
荷重支持型鋼製ジョイント 車道用, 除雪対応型, 伸縮量20mm	8.0		m						V0050 0 単第0-0017 表	050910
荷重支持型鋼製ジョイント 歩道用, 伸縮量40mm	16.0		m						V0060 0 単第0-0018 表	050910
地覆目地補修材料費 変成シリコーン系シーリング材									W0001	
建設物価2023.9月P457	2		L							
現場発生品・支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2t吊 片道運搬距離20.0km以下(14.0km超) 伸縮装置(支給品)	1		回						SPK22040408 0 A=1, B=5, C=7 単第0-0013 表	050910



# 本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬		m3			Y1G03210104 (レベル4)
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	3	m3			SPK22040142 0 A=2, B=1, C=2, D=44, E=1 単第0-0019 表 050910
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
処分費 Con殻(有筋)					TTV0441 0 050910
株丸福	7	t			
舗装補修工		一式			Y1G0304 (レベル2)
アスファルト舗装取壊し工					Y3999 (レベル3)
舗装版破碎		m2			Y1G03040202 (レベル4)
路面切削(車道部) 全面切削6cm以下(4000m2以下) 段差すりつけの撤去作業有り	180	m2			SPK22040300 0 A=1, B=2, C=1 単第0-0020 表 050910
舗装版破碎(車道部) アスファルト舗装版 障害有り 舗装版厚4cm以下	180	m2			SPK22040302 0 A=1, B=2, D=4, F=1, G=1 単第0-0021 表 050910

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版破碎 (歩道部) アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	130	m2			SPK22040302 0 A=1, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1  単第0-0022 表 050910
殻運搬		m3			Y1G03040205 (レベル4)
殻運搬(路面切削) DID区間有り 運搬距離12.5km以下(11.0km超)	9	m3			SPK22040301 0 A=2, B=23, C=1  単第0-0023 表 050910
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)	7	m3			SPK22040142 0 A=3, B=3, C=2, D=57, E=1  単第0-0024 表 050910
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
処分費 As殻 カネックス(株)	38	t			TTV0440 0  050910
掘削工		一式			Y1G010201 (レベル3)
掘削		m3			Y1G01020101 (レベル4)
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	30	m3			SPK22040001 0 A=1, B=5, F=7  単第0-0025 表 050910

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
残土処理工					Y1G010210 (レベル3)
		一式			
土砂等運搬					Y1G01021002 (レベル4)
		m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離12.0km以下(9.0km超)	30	m3			SPK22040002 0 A=2, B=5, C=1, D=2, F=45 単第0-0026 表 050910
投棄料					#0041 C=投棄料
		一式			
処分費 地山 鳥取県建設技術センター小町事業所	30	m 3			TTV0660 0 050910
路側工					Y3999 (レベル3)
歩車道境界ブロック					Y1G03060301 (レベル4)
		m			
歩車道境界ブロック撤去 処分	43	m			SPK22040284 0 A=1 単第0-0027 表 050910
歩車道境界ブロック C種(180/210×300×600) 片斜両面R 設置 基礎碎石無し	40	m			SPK22040282 0 A=1, B=5, E=2, F=4 単第0-0028 表 050910

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬		m3			Y1G03040205 (レベル4)
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	1	m3			SPK22040142 0 A=1, B=1, C=2, D=34, E=1 単第0-0008 表 050910
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
処分費 Con殻(無筋)					TTV0442 0 050910
旬大成商事	3	t			
橋面防水工					Y3999 (レベル3)
橋面防水					Y4999 (レベル4)
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系	320	m2			SS000255 0 A=1 単第0-0029 表 050910
橋面防水材料費					V0070 0
	1	一式			単第0-0030 表 050910
仮設工		一式			Y1G0328 (レベル2)

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設足場工					Y3999 (レベル3)
足場					Y4999 (レベル4)
シート張防護工 TYPE E、シート+板張防護 現場環境条件による補正：1.1 R5橋梁架設工事の積算P4-13	70	㎡			V2020 0  単第0-0031 表 050910
交通管理工		一式			Y1G032821 (レベル3)
交通誘導警備員		人			Y1G03282101 (レベル4)
交通誘導警備員B	43	人			R0369 0  050910
**直接工事費**					
運搬費					Z0004
建設機械の貨物自動車等による運搬 路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 片道運搬距離 2.1km 往復運搬	1	回			S1000013 0 A=1, D=4, E=2.1, F=2, G=1, I=1, K=1, M=1  単第0-0032 表 050910

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
技術管理費						Z0006
極小規模鉄筋探查工 下向き	1		一式			V0014 0  単第0-0034 表 050910
現場環境改善費						Z0012
共通仮設費						
** 共通仮設費計 **						
** 純工事費 **						
現場管理費						
** 工事原価 **						
一般管理費率 分						

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
契約保証費						
一般管理費計						
**工事価格**						
**消費税相当額**						
**工事費計**						

# 施工単価表

単第0-0001 表

V0002

100 m 当り

見積り

水切り設置工  
E PDM系ゴム製水切り材

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2	人			RTPC00009
特殊作業員	2	人			RTPC00001
普通作業員	4	人			RTPC00002
E PDM系ゴム製水切り材 ウォーターカッター相当	100	m			F000000009
諸雑費	5	%			見積り #09
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			





# 施工単価表

単第0-0003 表

1

回 当り

SPK22040408

片道運搬距離5.0km以下(2.0km超)

標準単価:

現場発生品・支給品運搬

クレーン装置付BT2t積2t吊

機械構成比: 12.70% 労務構成比: 82.47%

材料構成比: 4.83%

市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.0t	12.70%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.0t		MTPC00020 MTPT00020
特殊運転手	41.83%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	40.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	4.83%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t積2t吊 C=7 1回当り平均積載質量1.1t超1.5t以下			B=2 片道運搬距離5.0km以下(2.0km超)		



# 施工単価表

単第0-0005 表

1 構造物 当り

ひび割れ補修工(低圧注入工法)  
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035  
エポキシ樹脂系1種

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			RTPC00009
特殊作業員	2.400	人			RTPC00001
普通作業員	1.800	人			RTPC00002
エポキシ樹脂注入材 1種	10.360	kg			F000000011 県単価
シール材	6.549	kg			F000000013 県単価
注入器	83.000	個			F000000014 見積り
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=11 【F】 注入材(kg) C=13 【F】 シール材(kg) E=14 【F】 低圧注入器具(個)			B=10.36 D=4.78 F=83		注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)
シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * ( 1 + ロス率 ) = 4.78000000 * ( 1 + 0.37 ) = 6.549(kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

# 施工単価表

単第0-0006 表

S1020041

修復延べ体積0.854m3

1

構造物 当り

断面修復工(左官工法)  
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	19.642	人			RTPC00009
特殊作業員	32.452	人			RTPC00001
普通作業員	21.350	人			RTPC00002
ポリマーセメントモルタル	1.008	m3			F000000016 県単価
諸雑費	11	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.854 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.854 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=16		【F】断面修復材(m3)
土木一般世話役 = $V / 0.1 * D2 = 0.85400000 / 0.1 * 2.3 = 19.642$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.85400000 / 0.1 * 3.8 = 32.452$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.85400000 / 0.1 * 2.5 = 21.350$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = $0.85400000 * (1 + 0.18) = 1.008$ (m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

# 施工単価表

単第0-0007 表

S1020043

1 構造物 当り

断面修復工(左官工法)  
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)

修復延べ体積0.1m3未満の場合

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			RTPC00009
特殊作業員	3.200	人			RTPC00001
普通作業員	2.100	人			RTPC00002
ポリマーセメントモルタル	0.019	m3			F0000000016
諸雑費	9	%			県単価 #09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=16 【F】断面修復材(m3)			B=0.016	断面修復材の設計数量(m3/構造物)	
断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * ( 1 + ロス率 ) = 0.01600000 * ( 1 + 0.18 ) = 0.019(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

# 施工単価表

単第0-0008 表

SPK22040142

DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

殻運搬

Co(無筋)構造物とりこわし

機械構成比: 43.25% 労務構成比: 42.18%

材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		





# 施工単価表

SPK22040304

単第0-0010 表

1

m 当り

クランク補修

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	64.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	11.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1	-(全ての費用)				

# 施工単価表

単第0-0011 表

V0090

30 m 当り

R5橋梁架設工事の積算P4-52

高欄撤去工  
L≤100m

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			RTPC00009
特殊作業員	2	人			RTPC00001
普通作業員	2	人			RTPC00002
諸雑費	3	%			#09 労務費の3%
*** 合計 ***	30	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# 施工単価表

単第0-0012 表

SPK22040108

1

m2 当り

コンクリートはつり  
平均はつり厚3cmを超え6cm以下

機械構成比： 1.60% 労務構成比： 94.79% 材料構成比： 3.61% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量5.0m3/min 吐出圧力0.7MPa	1.56%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型] 5m3/min		KTPC00030 KTPT00030
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	41.70%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	19.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	3.51%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001



# 施工単価表

単第0-0013 表

1

回 当り

現場発生品・支給品運搬

SPK22040408

片道運搬距離20.0km以下(14.0km超)

高欄(支給品)

クレーン装置付BT2t積2t吊

機械構成比: 12.72% 労務構成比: 82.45%

材料構成比: 4.83%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.0t	12.72%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.0t		MTPC00020 MTPT00020
特殊運転手	41.93%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	40.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	4.83%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t積2t吊 C=7 1回当り平均積載質量1.1t超1.5t以下			B=5 片道運搬距離20.0km以下(14.0km超)		

# 施工単価表

単第0-0014 表

SPK22040292

組立式 塗装

1

m 当り

橋梁用高欄  
高欄(各種)

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 7.15% 材料構成比： 92.85% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	5.51%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.62%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
橋梁用高欄(支給品)	92.85%		高欄(鋼製) B種 丸・縦棧型 ビーム数3本 高さ1,000mm スパン2.0m めっき		F000000019 TTPT00106
積算単価			積算単価		EP001
A=1 組立式 C=22 高欄(各種)			B=2 塗装 D=19 【F】高欄(m)		











# 施工単価表

単第0-0019 表

SPK22040142

DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

1

m3 当り

殻運搬

Co(鉄筋)構造物とりこわし

機械構成比: 43.25% 労務構成比: 42.18%

材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=2 E=1 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り -(全ての費用)			B=1 D=44 機械積込 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

# 施工単価表

単第0-0020 表

1 m2 当り

標準単価:

SPK22040300

段差すりつけの撤去作業有り

材料構成比: 6.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

路面切削 (車道部)

全面切削6cm以下(4000m2以下)

機械構成比: 57.10%

労務構成比: 36.05%

材料構成比: 6.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
路面切削機 ホイール式・廃材積込装置付・排3 切削幅2.0m×深さ23cm	35.26%		路面切削機 ホイール式・廃材積込装置付・排3 切削幅2.0m×深さ23cm		MTPC00136 MTPT00136
路面清掃車 ブラシ・四輪式(走) ホッパ容量1.5m3	6.44%		路面清掃車 ブラシ・四輪式(走) ホッパ容量1.5m3		MTPC00072 MTPT00072
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	12.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	3.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	3.55%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	5.00%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

単第0-0021 表

1 m2 当り

舗装版破碎 (車道部)

SPK22040302

障害有り 舗装版厚4cm以下

アスファルト舗装版

機械構成比: 1.79%

労務構成比:

95.97%

材料構成比: 2.24%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1

m2

当り

代表機 労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5~3.7m3/min 吐出圧力0.7MPa	1.40%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5~3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.39%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	52.95%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	43.02%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	2.24%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 D=4 舗装版厚4cm以下 G=1 -(全ての費用)			B=2 障害有り F=1 積込作業有り		

# 施工単価表

単第0-0022 表

1 m2 当り

1

標準単価:

市場単価構成比: 0.00%

材料構成比: 7.94%

SPK22040302 障害無し 舗装版厚15cm以下

労務構成比: 82.52%

機械構成比: 9.54%

舗装版破碎 (歩道部)

アスファルト舗装版

05-\*\*\*\*\*-0007 -40

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)	9.54%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	29.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	28.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	7.94%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

# 施工単価表

単第0-0023 表

SPK22040301

運搬距離12.5km以下(11.0km超)

1

m3 当り

殻運搬(路面切削)

DID区間有り

機械構成比: 43.28% 労務構成比: 43.06% 材料構成比: 13.66% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.28%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	43.06%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	13.66%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 DID区間有り -(全ての費用)			B=23 運搬距離12.5km以下(11.0km超)		



# 施工単価表

単第0-0024 表

SPK22040142

DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)

1

m3 当り

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比： 47.26% 労務構成比： 37.92% 材料構成比： 14.82% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.26%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	37.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) D=57 運搬距離19.5km以下(10.5km超)		

# 施工単価表

単第0-0025 表

SPK22040001

1

m3 当り

掘削

土砂 上記以外(小規模)

標準

機械構成比: 29.89%

労務構成比:

59.07%

材料構成比: 11.04%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	29.89%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
特殊運転手	59.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	11.04%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 F=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

# 施工単価表

単第0-0026 表

SPK22040002

1

m3 当り

DID区間有り 距離12.0km以下(9.0km超)

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

土砂等運搬

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 25.82% 労務構成比: 62.21%

材料構成比: 11.97%

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.82%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
一般運転手	62.21%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	11.97%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=45 距離12.0km以下(9.0km超)			B=5 バックハウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

# 施工単価表

単第0-0027 表

SPK22040284

1

m 当り

歩車道境界ブロック撤去  
処分

機械構成比： 4.93% 労務構成比： 93.38% 材料構成比： 1.69% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.22m3(平積0.16m3)	4.93%		小型バックホウ [クローラ型・超小旋回型] 山積0.22m3		KTPC00002 KTPT00002
普通作業員	47.81%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.79%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	18.13%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.69%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 処分					

# 施工単価表

単第0-0028 表

SPK22040282

1

m 当り

設置 基礎碎石無し

歩車道境界ブロック

C種(180/210×300×600) 片斜両面R

機械構成比: 2.45% 労務構成比: 52.53%

材料構成比: 45.02%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) クレーン付 山積0.09m3(平積0.07m3) 吊能力0.9t	2.45%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3) 吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
特殊作業員	21.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.99%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
歩車道境界(JISA5371)C 180/210×300×600 片斜両面R 参考重量82kg 鳥取県認定グリーン商品	44.33%		歩車道境界ブロック C種(180/210×300×600)		TTPCH0037 TTPT00254
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.69%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999
A=1 設置 E=2 基礎碎石無し			B=5 C種(180/210×300×600) 片斜両面R F=4 生コンクリート無し		



# 施工単価表

単第0-0030 表

1 式 当り

V0070

橋面防水材料費

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ステンレス製排水用導水管 φ18	69.2	m			W0001 建設物価2023.9月P227
導水テープ 幅30mm×厚3mm タフシャット導水テープ相当	39.0	m			W0001 建設物価2023.9月P227
成型目地材 幅30mm×厚5mm RCシール相当	121.2	m			W0001 建設物価2023.9月P226
*** 単位当たり ***	1	一式			





# 施工単価表

単第0-0032 表

1 回 当り

建設機械の貨物自動車等による運搬

S1000013

路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付)

片道運搬距離 2.1 km 往復運搬

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃料金 片道運搬距離 2.1 km	1.000	一式			S1000015 単第0-0033 表
復路分	1.000	一式			E0001
*** 単位当たり ***	1	回			
A=1 路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) E=2.1 片道運搬距離(km) G=1 - K=1 -			D=4 排ガス対策型3次基準 F=2 往復運搬 I=1 - M=1 -		
復路分 = 基本運賃料金(A) + 運搬される建設機械の運搬中の損料 = 62,500 + 0 = 62,500(円)					



# 施工単価表

単第0-0034 表

V0014

1 式 当り

極小規模鉄筋探查工  
下向き

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (A) (外業)	0.5	人			R0880 1
技師 (B) (外業)	1.0	人			R0890 1
技師 (C) (外業)	1.0	人			R0900 1
諸雑費	5	%			#01
*** 単位当たり ***	1	一式			

# 総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系 ファイル名	54 米子市 実施設計書      当初      05-*****-0007 -40 0 1 実施単価 30 米子市 0-05.09.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	38 橋梁保全工事 02 率計上する(市街地) 11 市街地(DID補正) 01 金銭保証(0.04%) 01 豪雪割増あり 02 算出しない 01 週休二日補正なし				

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
橋梁保全工事 【住宅前橋】			一式			Y1G03 (レベル1)
橋梁付属物工			一式			Y1G0321 (レベル2)
水切り工						Y3999 (レベル3)
水切り工						Y4999 (レベル4)
水切り設置工 E P D M系ゴム製水切り材						V0002 0
見積り	13		m			単第0-0001 表 050910
防護柵補修工			一式			Y3999 (レベル3)
防護柵取換工			一式			Y4999 (レベル4)
ガードレール撤去 (レールのみ) 直ビーム C種			一式			V1005 0
	14		m			単第0-0002 表 050910

# 本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガードレール取付 (レールのみ) 直ビーム C種	14	m			V1004 0  単第0-0004 表 050910
現場発生品・支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2t吊 片道運搬距離5.0km以下(2.0km超)	1	回			SPK22040408 0 A=1, B=2, C=7  単第0-0006 表 050910
スクラップ 鉄くず へビー H1	0.1	t			TTU0052 0  050910 8
橋梁補修工		一式			Y1G0324 (レベル2)
ひび割れ補修工		一式			Y1G032404 (レベル3)
低圧注入工法		構造物			Y1G03240402 (レベル4)
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合 エポキシ樹脂系1種	1	構造物			S1020035 0 A=11, B=1.82, C=13, D=0.72, E=14, F=31  単第0-0007 表 050910
断面修復工		一式			Y1G032405 (レベル3)
左官工法		構造物			Y1G03240501 (レベル4)

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.106m <sup>3</sup>	1	構造物			S1020041 0 A=0.106, B=16, C=0.106  単第0-0008 表 050910
殻運搬		m <sup>3</sup>			Y1G03040205 (レベル4)
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	0.1	m <sup>3</sup>			SPK22040142 0 A=1, B=1, C=2, D=34, E=1  単第0-0009 表 050910
殻処分		m <sup>3</sup>			Y1G03040206 (レベル4)
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
処分費 Con殻(無筋)  (有大成商事)	0.3	t			TTV0442 0  050910
橋面防水工		一式			Y3999 (レベル3)
橋面防水工		一式			Y4999 (レベル4)
薄層遮水性舗装 スーパーロメンパッチDN工法同等	24	m <sup>2</sup>			V1003 0  単第0-0010 表 050910

# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工						Y1G0328 (レベル2)
			一式			
交通管理工						Y1G032821 (レベル3)
			一式			
交通誘導警備員						Y1G03282101 (レベル4)
			人			
交通誘導警備員B						R0369 0
			人			050910
	10		人			
**直接工事費**						
現場環境改善費						Z0012
共通仮設費						
**共通仮設費計**						
**純工事費**						



# 本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費					
**工事原価**					
一般管理費率 分					
契約保証費					
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相 当額**					
**工事費計**					

# 施工単価表

単第0-0001 表

V0002

100 m 当り

見積り

水切り設置工  
E PDM系ゴム製水切り材

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2	人			RTPC00009
特殊作業員	2	人			RTPC00001
普通作業員	4	人			RTPC00002
E PDM系ゴム製水切り材 ウォーターカーター相当	100	m			F000000009
諸雑費	5	%			見積り #09
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			









# 施工単価表

単第0-0006 表

1

回 当り

SPK22040408

片道運搬距離5.0km以下(2.0km超)

標準単価:

現場発生品・支給品運搬

クレーン装置付BT2t積2t吊

機械構成比: 12.70% 労務構成比: 82.47%

材料構成比: 4.83%

市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.0t	12.70%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.0t		MTPC00020 MTPT00020
特殊運転手	41.83%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	40.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	4.83%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t積2t吊 C=7 1回当り平均積載質量1.1t超1.5t以下			B=2 片道運搬距離5.0km以下(2.0km超)		

# 施工単価表

単第0-0007 表

1 構造物 当り

ひび割れ補修工(低圧注入工法)  
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035  
エポキシ樹脂系1種

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			RTPC00009
特殊作業員	2.400	人			RTPC00001
普通作業員	1.800	人			RTPC00002
エポキシ樹脂注入材 1種	1.820	kg			F000000011 県単価
シール材	0.986	kg			F000000013 県単価
注入器	31.000	個			F000000014 見積り
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=11 【F】 注入材(kg) C=13 【F】 シール材(kg) E=14 【F】 低圧注入器具(個)			B=1.82 D=0.72 F=31		注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)
シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * ( 1 + ロス率 ) = 0.72000000 * ( 1 + 0.37 ) = 0.986(kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					



# 施工単価表

単第0-0008 表

1 構造物 当り

S1020041

修復延べ体積0.106m<sup>3</sup>

断面修復工(左官工法)  
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.438	人			RTPC00009
特殊作業員	4.028	人			RTPC00001
普通作業員	2.650	人			RTPC00002
ポリマーセメントモルタル	0.125	m <sup>3</sup>			F000000016 県単価
諸雑費	11	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.106 1構造物当り修復延べ体積(m <sup>3</sup> /構造物) C=0.106 断面修復材の設計数量(m <sup>3</sup> /構造物)			B=16	【F】断面修復材(m <sup>3</sup> )	
土木一般世話役 = $V / 0.1 * D2 = 0.10600000 / 0.1 * 2.3 = 2.438$ (人) 小数第4位四捨五入 特殊作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.10600000 / 0.1 * 3.8 = 4.028$ (人) 小数第4位四捨五入 普通作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.10600000 / 0.1 * 2.5 = 2.650$ (人) 小数第4位四捨五入					小数第3位止め
断面修復材の使用数量 = 設計数量(m <sup>3</sup> ) * (1 + ロス率) = 0.10600000 * (1 + 0.18) = 0.125(m <sup>3</sup> )					小数第4位四捨五入 小数第3位止め

# 施工単価表

単第0-0009 表

SPK22040142

DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

殻運搬

Co(無筋)構造物とりこわし

機械構成比: 43.25% 労務構成比: 42.18%

材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

# 施工単価表

単第0-0010 表

V1003

50 m<sup>2</sup> 当り

薄層遮水性舗装  
スーパーロメンパッチDN工法同等

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			RTPC00009
普通作業員	3	人			RTPC00002
特殊作業員	2	人			RTPC00001
特殊乳剤・骨材 スーパーロメンパッチ	134	組			W0001 見積り 9
HQプライマー	30	kg			W0001 見積り 9
5号珪砂	50	kg			W0001 9
雑材料	7	%			#09
*** 合計 ***	50	m <sup>2</sup>			
*** 単位当たり ***	1	m <sup>2</sup>			





市道住の江4号線住宅前橋ほか1橋りょう補修工事

(1) エポキシ樹脂系 ひび割れ注入工

数量表

損傷種別	部材	損傷No.	損傷数量			備考
			幅 (mm)	延長 (m)	面積 (m2)	
ひびわれ 0.2mm以上1.0未満	A1橋台	緑C1	0.50	0.90	0.45	
	地覆側面	緑C2	0.30	0.15	0.05	
	地覆	緑C3	0.60	0.35	0.21	
	地覆	緑C4	0.30	0.12	0.04	
	<b>ひびわれ0.2以上1.0未満</b>	<b>平均幅</b>	<b>0.49</b>	<b>1.52</b>	<b>0.74</b>	
ひびわれ 1.0mm以上5.0mm未満	舗装	青C1	3.00	1.00	3.00	
		青C2	2.00	5.00	10.00	
	<b>ひびわれ1.0mm以上5.0mm未満</b>	<b>平均幅</b>	<b>2.17</b>	<b>6.00</b>	<b>13.00</b>	

総括表

工種	平均ひび割れ幅 (mm)	補修延長 (m)	備考
ひび割れ注入工	1.83	7.52	

(2) 市道住の江4号線住宅前橋ほか1橋りょう補修工事

エポキシ樹脂系ひび割れ注入工（1橋あたり）

補修延長

$$L = 7.52 = 7.52 \text{ m}$$

平均幅

$$W = 1.83 / 1000 = 0.00183 \text{ m}$$

注入深さ

$$L = 0.1 \text{ (想定)} = 0.10 \text{ m}$$

注入材（比重：1.15、ロス率15%）

$$W = 7.52 \times 0.00183 \times 0.10 \times 1000 \times 1.15 \times 1.15 = 1.82 \text{ kg}$$

シール材（比重：1.6）

$$W = 7.52 \times 0.0020 \times 0.03 \times 1000 \times 1.6 = 0.72 \text{ kg}$$

シール幅…50mm シール厚…3mm

注入器具（0.25m間隔）

$$N = 7.52 / 0.25 = 31 \text{ 個}$$





市道住の江4号線住宅前橋ほか1橋りょう補修工事

(1) ポリマーセメントモルタル系 断面修復工数量表

鉄筋構造物

損傷種別	部材	損傷No.	損傷数量					備考
			横(m)	縦(m)	高さ(m)	面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )	
鉄筋・鋼材露出	床版	T1	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T2	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T3	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T4	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T5	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T6	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T7	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T8	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T9	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T10	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T11	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T12	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T13	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T14	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T15	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T16	0.02	0.10	0.05	0.002	0.0001	
	床版	T17	0.30	0.05	0.05	0.015	0.0008	
	床版	T18	0.40	0.05	0.05	0.020	0.0010	
	床版	T19	1.45	0.05	0.05	0.073	0.0036	
	床版	T20	1.40	0.05	0.05	0.070	0.0035	
	床版	T21	3.50	0.05	0.05	0.175	0.0088	
	床版	T22	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T23	0.25	0.05	0.05	0.013	0.0006	
	床版	T24	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T25	0.25	0.05	0.05	0.013	0.0006	
	床版	T26	0.30	0.05	0.05	0.015	0.0008	
	床版	T27	5.80	0.15	0.07	0.870	0.0609	
	床版	T28	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T29	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T30	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T31	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T32	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T33	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T34	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T35	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T36	0.50	0.10	0.10	0.050	0.0050	
	床版	T37	0.10	0.02	0.09	0.002	0.0002	
	床版	T38	0.05	0.05	0.05	0.003	0.0001	
	床版	T39	1.60	0.05	0.05	0.080	0.0040	
	床版	T40	0.45	0.05	0.05	0.023	0.0011	
	床版	T41	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T42	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T43	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T44	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T45	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T46	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T47	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T48	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T49	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T50	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T51	0.05	0.10	0.05	0.005	0.0003	
	床版	T52	0.80	0.15	0.06	0.120	0.0072	
			鉄筋・鋼材露出			1.677	0.1061	

鉄筋構造物合計

1.68

0.106

市道住の江4号線住宅前橋ほか1橋りょう補修工事

(2) 補修数量総括表

工種	損傷種別	復旧体積 (m <sup>3</sup> )
断面修復工 (鉄筋構造物) 左官工法	うき・剥落	—
	剥離・鉄筋露出	0.106
	豆板・表面脆弱	—
	ポットホール	—
	合計	0.106

(3) 数量計算

鉄筋構造物

$$V = 0.1061 \qquad \qquad \qquad = 0.106 \text{ m}^3$$

断面修復材 (ポリマーセメントモルタル 1,630kg/m<sup>3</sup>、ロス率18%)

$$W = 0.106 \times 1630.0 \times 1.18 \qquad \qquad \qquad = 203.9 \text{ kg}$$

コンクリート殻運搬

$$V = 0.11 \qquad \qquad \qquad = 0.11 \text{ m}^3$$

コンクリート殻処理

$$W = 0.11 \times 2.35 \qquad \qquad \qquad = 0.26 \text{ t}$$



(1) 薄層遮水性舗装

$$\begin{array}{l} \text{住の江4号線住宅前橋ほか1橋りよ} \\ A = 3.30 \text{ (m)} \times 7.0 \text{ (m)} + 0.90 \text{ (m)} \times 1.42 \text{ (m)} = 24.38 \text{ m}^2 \end{array}$$

$$\text{合計 } \Sigma A = 24.38 \text{ m}^2$$



(1) 水切り工

喬ほか1橋りょう補修工事

上流側 L= 6.30 m

下流側 L= 6.30 m

水切り工合計  $\Sigma L = 12.60$  m



(1) 防護柵補修工

喬ほか1橋りょう補修工事

A1側 L= 7.20 m

A2側 L= 7.20 m

防護柵補修工合計  $\Sigma L = 14.40$  m







2-1 上下部エコンクリート補修数量

(1) 上部工

位置	ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂系注入材)						断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)				断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)				
	0.2mm~0.9mm		1.0~1.9mm		2.0~ 5.0mm		縦 H(m)	横 W(m)	鉄筋あ り d= 5cm	鉄筋あ り 体積	縦 H(m)	横 W(m)	鉄筋な し d= 5cm	鉄筋な し 体積	
	m														m <sup>2</sup>
床版下面	①	0.4	②	1.9	⑯	1.9	1	0.20	0.50	0.10					
	⑥	0.9	③	1.5			2	0.15	0.30	0.05					
	⑦	0.9	④	0.8			3	0.10	0.25	0.03					
	⑧	0.3	⑤	3.1			4	0.10	0.10	0.01					
	⑨	0.7	⑩	0.3			5	0.10	0.10	0.01					
	⑪	0.4					6	0.15	0.30	0.05					
	⑫	1.4					7	0.15	0.40	0.06					
	⑬	0.5					8	0.10	0.10	0.01					
	⑭	0.3					9	0.25	1.30	0.33					
	⑰	0.6					10	0.15	0.55	0.08					
	⑱	0.4					11	0.35	1.55	0.54					
	⑲	0.3					12	0.35	2.60	0.91					
	⑳	0.4					13	0.25	0.20	0.05					
	㉑	0.5					14	0.15	1.30	0.20					
	㉒	0.6					15	0.15	0.90	0.14					
	㉓	0.6					16	0.55	0.75	0.41					
	㉔	1.2					17	0.25	0.70	0.18					
							18	0.20	0.40	0.08					
							19	0.20	2.00	0.40					
							20	0.25	1.20	0.30					
							21	0.20	1.60	0.32					
							22	0.45	0.62	0.28					
							23	0.35	2.20	0.77					
							24	0.20	1.00	0.20					
							25	0.40	1.25	0.50					
							26	0.35	0.15	0.05					
							27	0.10	1.90	0.19					
							28	0.20	0.30	0.06					
							29	0.35	2.10	0.74					
小計	10.4		7.6		1.9					7.05	0.00			0.00	0.00

位 置	ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂系注入材)					断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)				断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)					
	0.2mm~0.9mm		1.0~1.9mm		2.0~ 5.0mm		縦 H(m)	横 W(m)	鉄筋あ り d= 5cm	鉄筋あ り 体積				鉄筋な し d= 5cm	鉄筋な し 体積
	m								m2	m3				m2	m3
床版下面						30	0.15	0.80	0.12						
						31	0.20	0.45	0.09						
						32	0.20	0.45	0.09						
						33	0.15	0.25	0.04						
						34	0.20	0.60	0.12						
						35	0.20	0.35	0.07						
						36	0.35	1.20	0.42						
						37	0.35	0.60	0.21						
						38	0.45	0.90	0.41						
						39	0.15	0.85	0.13						
						40	0.40	0.30	0.12						
						41	0.25	0.15	0.04						
						42	0.30	0.30	0.09						
						43	0.35	0.20	0.07						
						44	0.25	1.90	0.48						
						45	0.15	0.30	0.05						
						46	0.20	1.80	0.36						
						47	0.40	2.30	0.92						
						48	0.25	0.70	0.18						
						49	0.20	0.65	0.13						
						50	0.40	0.45	0.18						
						51	0.20	0.30	0.06						
						52	0.35	1.20	0.42						
						53	0.30	0.60	0.18						
						54	0.15	0.20	0.03						
						55	0.15	0.35	0.05						
						56	0.20	0.30	0.06						
						57	0.15	0.50	0.08						
						58	0.20	1.60	0.32						
						59	0.20	0.30	0.06						
小 計	0.0		0.0		0.0				5.58	0.00				0.00	0.00



位 置	ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂系注入材)						断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)				断面修復工 (ポリマーセメント モルタル)				
	0.2mm~0.9mm		1.0~1.9mm		2.0~ 5.0mm		縦 H(m)	横 W(m)	鉄筋あ り d= 5cm	鉄筋あ り 体積				鉄筋な し d= 5cm	鉄筋な し 体積
	m								m2	m3				m2	m3
地覆							1	0.10	0.60	0.06					
							2	0.10	0.60	0.06					
							3	0.10	0.60	0.06					
							4	0.10	0.60	0.06					
							5	0.24	1.67	0.40					
							6	0.24	1.67	0.40					
							7	0.24	1.69	0.41					
							8	0.24	1.75	0.42					
							9	0.24	1.69	0.41					
							10	0.24	1.67	0.40					
							11	0.24	1.69	0.41					
							12	0.24	1.69	0.41					
							13	0.10	0.60	0.06					
							14	0.10	0.60	0.06					
							15	0.10	0.60	0.06					
							16	0.10	0.60	0.06					
小 計	0.0		0.0		0.0					3.74				0.00	



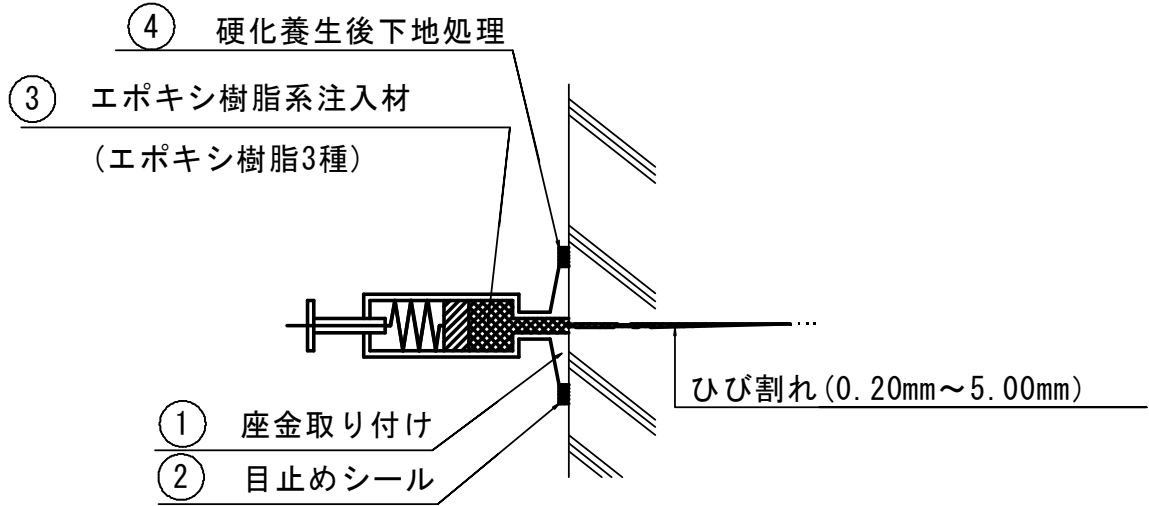
## 2-2 ひびわれ注入工 数量計算書

ひび割れ幅 0.2mm~0.9mm

1橋当り

略 図

### エポキシ樹脂系注入材 低圧注入（上部工）



※低圧注入器の取付ピッチは250mm(4個/m)を標準とする。  
 ※注入深さは110mm程度を見込んでいます。

材料／規格	算 式	単 位	数 量
ひび割れ延長		m	10.400
注入材 エポキシ樹脂系注入材3種	0.00055*0.110*10.4*1150*1.15 ひび割れ幅…0.20~0.90mm（平均幅0.55mm） 平均注入深さ…110mm 材料密度…1150kg/m <sup>3</sup> ロス率…15%	kg	0.832
シール材 エポキシ樹脂シール材	0.050*0.003*10.4*1600 シール幅…50mm シール厚…3mm 材料密度…1600kg/m <sup>3</sup>	kg	2.496
注入器具	10.4/0.25+1 取付間隔…250mm	本	43



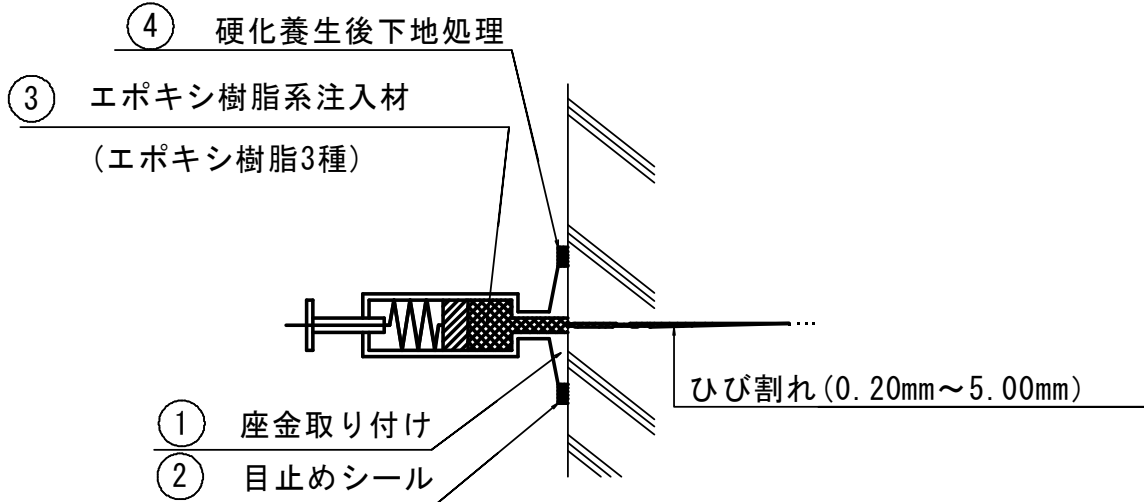
## 2-3 ひび割れ補修工 数量計算書

ひび割れ幅 1.0mm~1.9mm

1橋当り

略 図

### エポキシ樹脂系注入材 低圧注入（上部工）



※低圧注入器の取付ピッチは250mm(4個/m)を標準とする。  
 ※注入深さは290mm程度を見込んでいます。

材料／規格	算 式	単 位	数 量
ひび割れ延長		m	7.600
注入材 エポキシ樹脂系注入材3種	0.00145*0.290*7.6*1500*1.15 ひび割れ幅…1.00~1.90mm(平均幅1.45mm) 平均注入深さ…290mm 材料密度…1500kg/m <sup>3</sup> ロス率…15%	kg	5.513
シール材 エポキシ樹脂シール材	0.050*0.003*7.6*1600 シール幅…50mm シール厚…3mm 材料密度…1600kg/m <sup>3</sup>	kg	1.824
注入器具	7.6/0.25+1 取付間隔…250mm	本	31

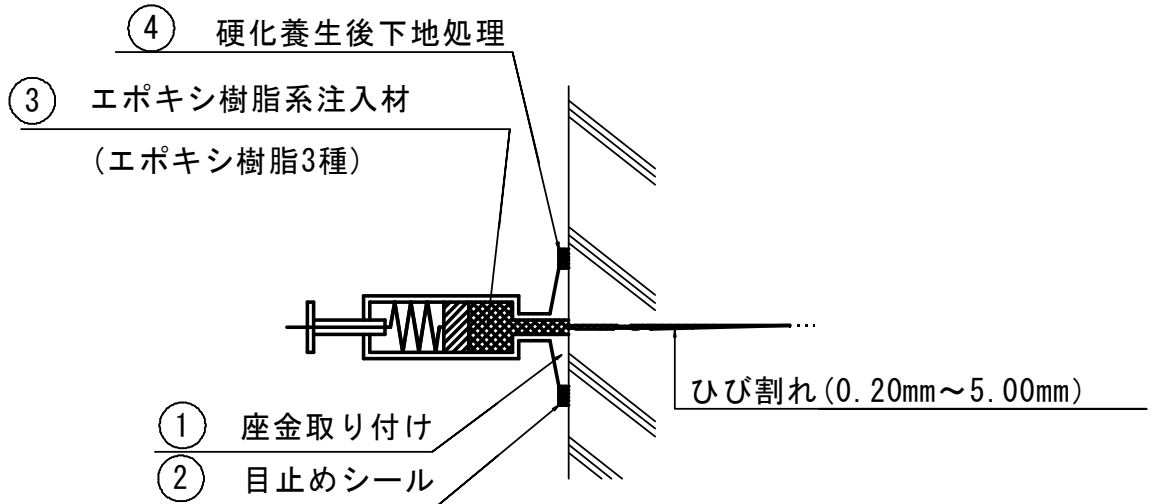
## 2-4 ひび割れ補修工 数量計算書

ひび割れ幅 2.0mm~5.0mm

1橋当り

略 図

### エポキシ樹脂系注入材 低圧注入（上部工）



※低圧注入器の取付ピッチは250mm(4個/m)を標準とする。  
 ※注入深さは350mm程度を見込んでいます。

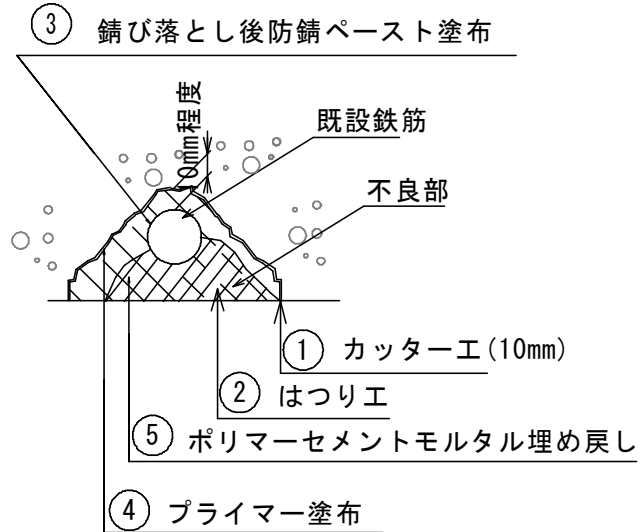
材料／規格	算 式	単 位	数 量
ひび割れ延長		m	1.900
注入材 エポキシ樹脂系注入材3種	0.00350*0.350*1.9*1500*1.15 ひび割れ幅…2.00~5.00mm（平均幅3.50mm） 平均注入深さ…350mm 材料密度…1500kg/m <sup>3</sup> ロス率…15%	kg	4.015
シール材 エポキシ樹脂シール材	0.050*0.003*1.9*1600 シール幅…50mm シール厚…3mm 材料密度…1600kg/m <sup>3</sup>	kg	0.456
注入器具	1.9/0.25+1 取付間隔…250mm	本	9

## 2-5 断面修復工 数量計算書

1 橋当り

略 図

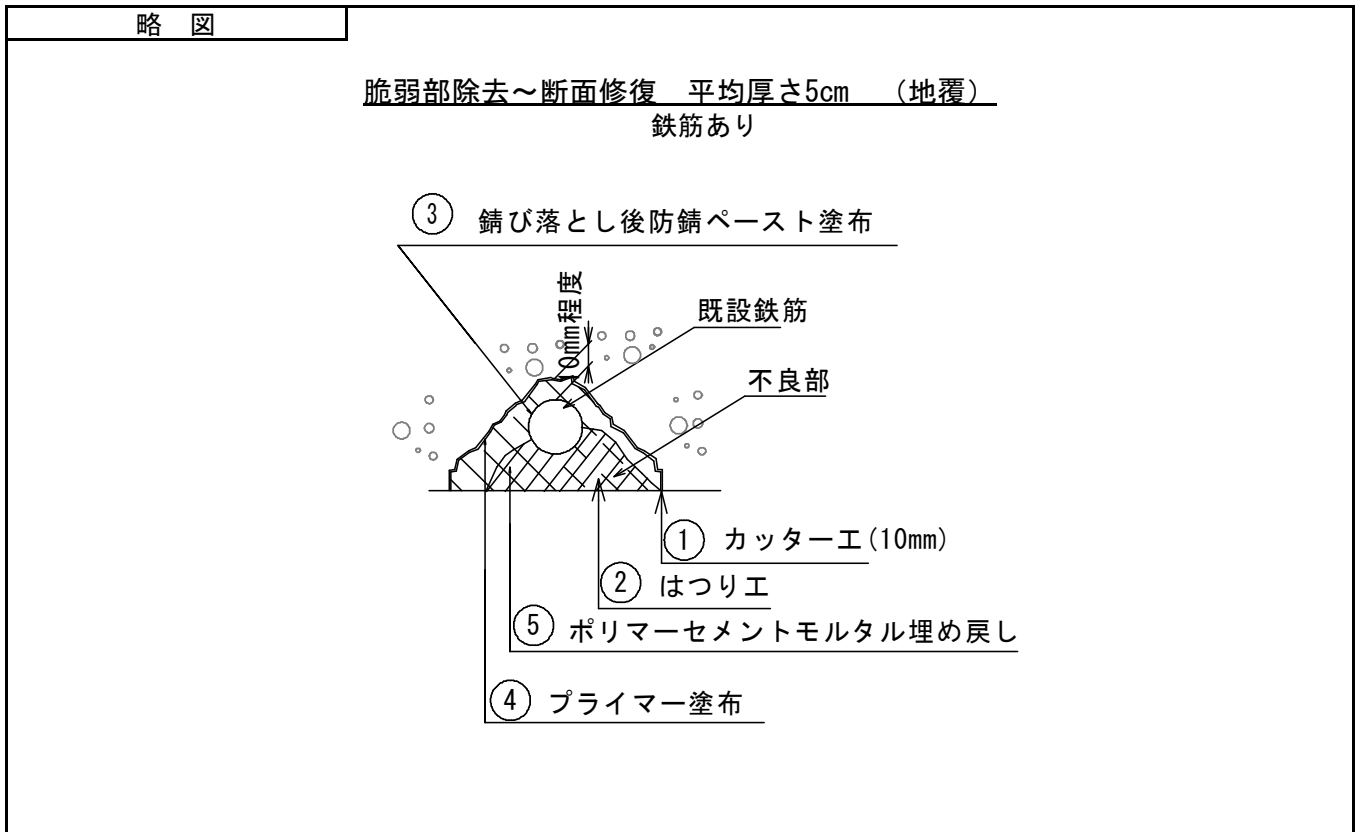
脆弱部除去～断面修復 平均厚さ5cm (上部工) 床版  
鉄筋あり



材料／規格	算 式	単 位	数 量
コンクリートはつり t=50mm		m2	13.330
殻運搬処理 コンクリート塊：無筋	13.33*0.05	m3	0.667
	0.667*2.35	t	1.567
断面修復工 モルタル復旧 ポリマーセメントモルタル t=50mm	0.667	m3	0.667
	0.667*1750 カタログより1m3当りの標準使用量…1750kg	kg	1167

## 2-6 断面修復工 数量計算書

1 橋当り



材料／規格	算 式	単 位	数 量
コンクリートはつり t=50mm		m <sup>2</sup>	3.740
殻運搬処理 コンクリート塊：無筋	3.74*0.05	m <sup>3</sup>	0.187
	0.187*2.35	t	0.439
断面修復工 モルタル復旧 ポリマーセメントモルタル t=50mm	0.187	m <sup>3</sup>	0.187
	0.187*1750 カタログより1m <sup>3</sup> 当りの標準使用量…1750kg	kg	327

## 2-7 断面修復工 数量計算書

1 橋当り

略 図	<p>脆弱部除去～断面修復 平均厚さ5cm (上部工) 地覆 鉄筋なし</p>		
材料／規格	算 式	単 位	数 量
コンクリートはつり t=50mm		m2	0.320
殻運搬処理 コンクリート塊：無筋	0.32*0.05	m3	0.016
	0.016*2.35	t	0.038
断面修復工 モルタル復旧 ポリマーセメントモルタル t=50mm	0.016	m3	0.016
	0.016*1750 カタログより1m3当りの標準使用量…1750kg	kg	28

### 3. 水切り設置工

#### (1) 水切り工

ウォーターカッター相当品

$$L = 7.580 \times 2 = 15.160 \quad = \frac{15.160}{15.2} \text{ m}$$



#### 4. 橋面補修工

(1) 舗装ひびわれ注入工

$$L = \quad \quad \quad = \quad \quad \quad 35.3 \quad \text{m}$$

番号	ひび割れ幅 (mm)	延長 (m)
1	10.0	5.6
2	3.0	2.4
3	6.0	1.0
4	7.0	2.7
5	6.0	3.0
6	2.0	0.8
7	5.0	2.6
8	5.0	1.2
9	10.0	3.3
10	3.0	1.2
11	1.0	2.4
12	5.0	2.1
13	5.0	2.8
14	3.0	1.0
15	5.0	1.2
16	8.0	2.0
	合計	35.3

## 5. 防護柵取替工

### 5-1 防護柵撤去工

#### (1) 撤去数量 (コンクリート)

##### 1) 親柱

$$V = 0.22 \text{ m}^2 \times 0.35 \times 4 = 0.308 \text{ m}^3$$

##### 2) 高欄支柱

$$V = 0.07 \text{ m}^2 \times 0.175 \times 6 = 0.074 \text{ m}^3$$

##### 3) 高欄支柱 (親柱側面)

$$V = 0.07 \text{ m}^2 \times 0.15 \times 4 = 0.042 \text{ m}^3$$

合計 = 0.424 m<sup>3</sup>

#### (2) 撤去数量 (鋼材)

##### 1) 中間ビーム φ75

$$W = \frac{5.77 \text{ kg/m} \times 7.580 \times 2}{1000} = 0.087 \text{ t}$$

#### (3) 運搬処理工

##### 1) 殻運搬

$$V = 0.308 + 0.074 + 0.042 \text{ (Co殻)} = 0.424 \text{ m}^3$$

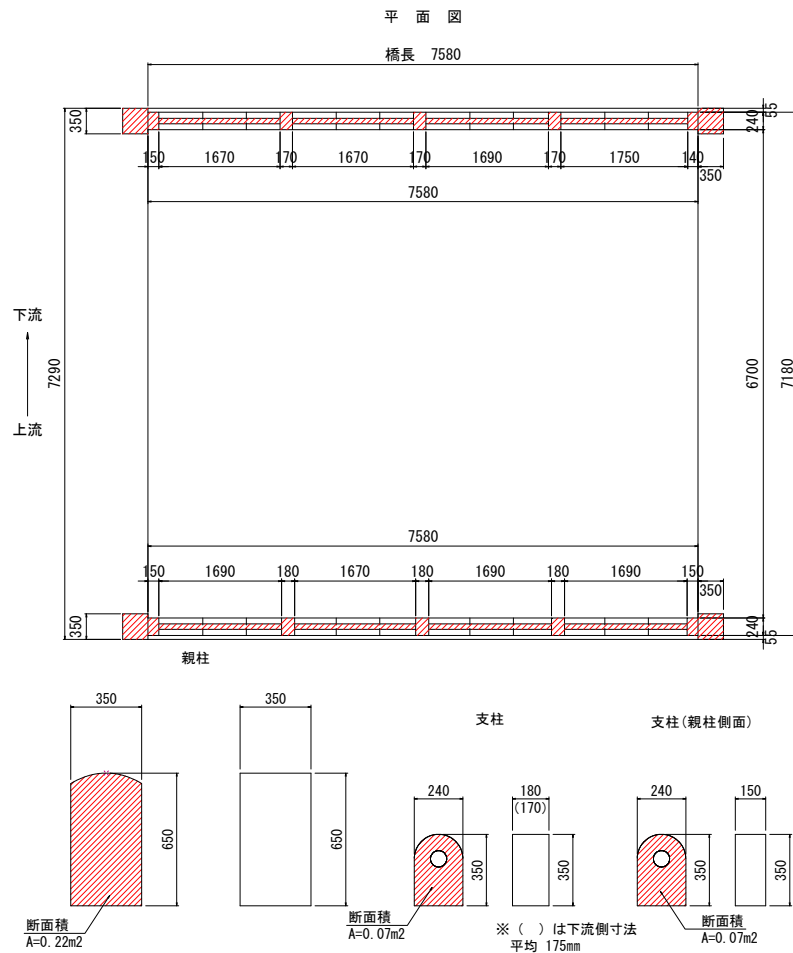
$$W = 0.087 \text{ (鋼材殻)} = 0.087 \text{ t}$$

##### 2) 殻処分

$$V = 0.308 + 0.074 + 0.042 \text{ (Co殻)} = 0.424 \text{ m}^3$$

$$W = 0.424 \times 2.35 \text{ kg/m}^3 = 0.996 \text{ t}$$

$$W = 0.087 \text{ (鋼材殻)} = 0.087 \text{ t}$$





## 5-2 防護柵設置工

### (1) 防護柵

$$L = 7.500 \times 2 = 15.000 \text{ m}$$

## 補修工事数量集計表

足尾橋

L1	L2	L3	L4	L5	単位	数	量	摘	要
工事区分	工種	種別	細別	規格					
橋梁保全工事									
橋梁付属物工									
		水切り設置工	コンクリート構造物用ゴム製水切り材		m	38.6			
橋面工									
橋面防水工									
		橋面防水工	塗膜系防水層		m2	323.2			
		導水管	φ18		m	69.2			
		導水テープ	幅30mm×厚3mm		m	39.0			
		成形目地材	幅30mm×厚5mm		m	121.2			
舗装補修工									
取壊し工									
		路面切削工	t=6cm以下		m2	181.8			
		舗装版破砕工	人力施工, t=4cm以下		m2	181.8			
			機械施工, t=15cm以下		m2	131.7			
		殻運搬	アスファルト殻 切削		m3	9.1			
			アスファルト殻 破砕		m3	7.1			
		殻処理	アスファルト殻		t	38.1			
土工									
		掘削	中詰砕石撤去		m3	27.0			
		残土処理工	土砂等運搬		m3	27.0			
			残土等処分		m3	27.0			
路側工									
		歩車道境界ブロック取外し			m	42.6			
		歩車道境界ブロック据付け	C種、基礎砕石・基礎コンクリート無し		m	40.4			
		殻運搬	コンクリート塊（無筋）		m3	1.4			
		殻処理	コンクリート塊（無筋）		t	3.3			
高欄取替工									
高欄取替工									
		高欄撤去工			m	41.6			
		地覆はつり			m3	0.1			
		復旧工			m3	0.1			
		現場発生品運搬			t	1.2			
		スクラップ処理			t	1.2			
		設置延長	アルミ製高欄(角型)		m	41.6			
		現場支給品運搬	高欄		t	1.2			
		鉄筋探査工	下向き		m2	4.8			
伸縮装置補修工									
		伸縮装置設置工							



1. 橋面防水工

項目	計算式	単位	数量
橋面防水工 橋面防水工	※補修図（路上部補修図(1)より）  塗膜系防水層		
	A= 8.0×20.2+4.0×20.2×2	m <sup>2</sup>	323.2
導水管	φ 18 L= 17.6×2+17.0×2	m	69.2
導水テープ	幅30mm×厚3mm L= 4.9×4+9.7×2	m	39.0
成形目地材	幅30mm×厚5mm L= 20.2×6	m	121.2

2-1. 舗装補修工集計表

工種	項目	規格・区分	単位	橋面		合計	摘要
				車道	歩道		
取壊し工	舗装版	路面切削工 t=6cm以下	m2	181.8		181.8	
		舗装版破碎工 人力施工, t=4cm以下	m2	181.8		181.8	
			m2		131.7	131.7	
	殻運搬	アスファルト殻 切削	m3	9.1		9.1	
			m3	1.8	5.3	7.1	
	殻処理	アスファルト殻	t			38.1	
土工	土工	掘削 中詰碎石撤去	m3		27.0	27.0	
		残土処理工 土砂等運搬	m3		27.0	27.0	
			m3		27.0	27.0	
路側工	歩車道境界ブロック取外し		m		42.6	42.6	
	歩車道境界ブロック据付け	C種、基礎碎石・基礎コンクリート無し	m		40.4	40.4	
	殻運搬	コンクリート塊 (無筋)	m3			1.4	
	殻処理	コンクリート塊 (無筋)	t			3.3	

2-2. 舗装補修工計算書

項目	計算式	単位	数量
【橋面】	※補修図（路上部補修図(2)より）		
取壊し工 路面切削工	平均切削深さ6cm以下 全面切削 車道部全面切削（アスファルト） t= 50mm A= 9.0×20.2	m <sup>2</sup>	181.8
舗装版破碎工	アスファルト舗装版 車道部全面破碎（人力施工） t= 10mm（想定） A= 車道部全面切削に同じ	m <sup>2</sup>	181.8
	歩道部全面破碎（機械施工） t= 40mm（想定） A= 3.26×20.2×2	m <sup>2</sup>	131.7
土工 掘削	中詰碎石 歩道部全面掘削 t= 170～240mm（想定） V= 3.26×（0.17+0.24）/2×20.2×2	m <sup>3</sup>	27.0
殻運搬 アスファルト殻 路面切削	橋面V= 181.8×50/1000	m <sup>3</sup>	9.1
	ΣV=	m <sup>3</sup>	9.1
アスファルト殻 舗装版破碎	機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) 橋面V= 181.8×10/1000 橋面V= 131.7×40/1000	m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	1.8 5.3
	ΣV=	m <sup>3</sup>	7.1
アスファルト処分	As比重 2.35 t/m <sup>3</sup> (9.1+7.1)×2.35	t	38.1
路側工 路側工(撤去)	歩車道境界ブロック撤去（橋面） L= 21.3×2	m	42.6
路側工(据付け)	歩車道境界ブロック設置 C種 基礎碎石・均しコンクリート無し（橋面） L= 20.2×2	m	40.4
殻運搬	コンクリート塊（無筋） 既設歩車道境界ブロック：推定A種 a150×b170×h200 V= (0.15+0.17)/2×0.2×42.6	m <sup>3</sup>	1.4
殻処分	コンクリート塊（無筋） W= 1.4×2.35	t	3.3

### 3. 高欄取替工

項目	計算式	単位	数量
高欄取替工	※補修図（路上部補修図(3)より）		
高欄撤去工	$L = 20.80 + 20.80$	m	41.6
地覆はつり	1箇所当り $0.220 \times 0.220 \times 0.05$ 柱撤去本数 $N = 11本 \times 2$	本	22
	地覆はつり $V = 0.220 \times 0.220 \times 0.05 \times 22$	m <sup>3</sup>	0.05
復旧工	既設高欄根入れ部 $V = 0.10 \times 0.10 \times 0.15 \times 22$	m <sup>3</sup>	0.03
	ポリマーセメントモルタル（単位体積重量：1925kg/m <sup>3</sup> ロス率18%） $V = 0.08 \times 1.18$	m <sup>3</sup>	0.09
	$W = 0.09 \times 1925$	kg	182
現場発生品運搬	30kg/mにて算出 $W = 41.6 \times 30 / 1000$	t	1.2
スクラップ処理	30kg/mにて算出 $W = 41.6 \times 30 / 1000$	t	1.2
設置延長	アルミ製高欄(角型) $L = 20.80 + 20.80$	m	41.6
鉄筋探查工	下向き $A = 0.40 \times 0.50 \times 24$	m <sup>2</sup>	4.8

4. 伸縮装置補修工

項目	計算式	単位	数量
伸縮装置設置工	※補修図(路上部補修図(2))より		
伸縮装置設置工	車道部：荷重支持型鋼製ジョイント A1:L=	m	8.0
	A2:L=	m	8.0
	ΣL=	m	16.0
	歩道部：歩道用ジョイント A1:L= 4.0+4.0	m	8.0
	A2:L= 4.0+4.0	m	8.0
	ΣL=	m	16.0
伸縮装置	車道部：除雪対応型 伸縮量40mm L=	m	8.0
	車道部：除雪対応型 伸縮量20mm L=	m	8.0
	歩道部：伸縮量400mm L=	m	16.0
殻運搬	コンクリート塊(有筋) $V = 0.644 \times 4.0 \times (0.17 + 0.24) / 2 \times 4 + 0.7 \times 8.0 \times 0.06 + 0.67 \times 8.0 \times 0.06$	m <sup>3</sup>	2.8
殻処理	比重：2.50t/m <sup>3</sup> $W = 2.8 \times 2.50$	t	7.0
目地材補修工	地覆部変性シリコーン系シーリング材 W=20mm $V = 0.02 \times 0.02 \times (0.4 + 0.43 + 0.65 - 0.02 \times 2) \times 4 \times 1000000$	cm <sup>3</sup> mL L	2304.0 2304.0 2.3



## 5. 水切り工

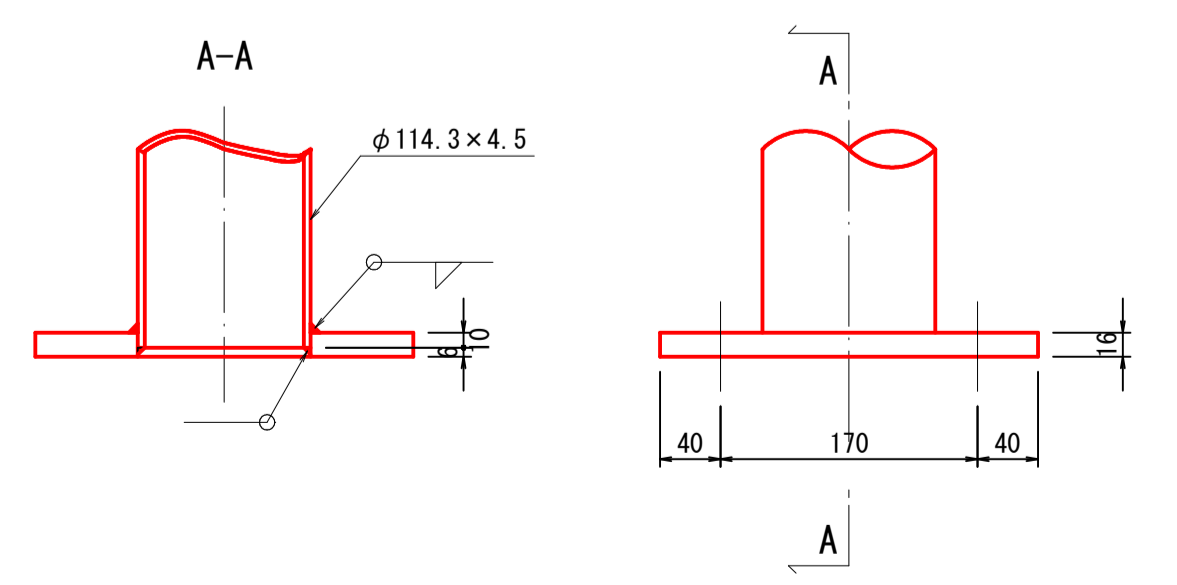
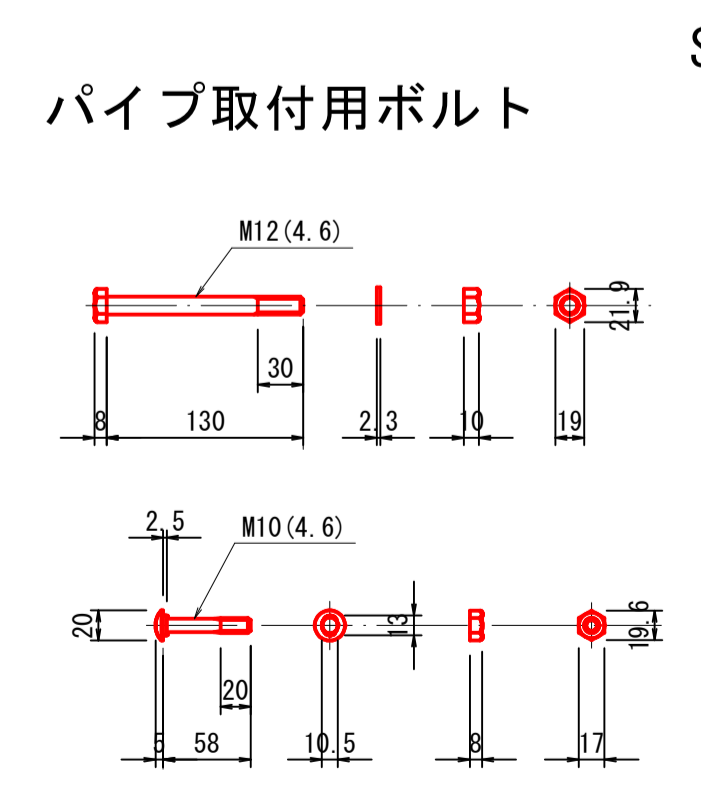
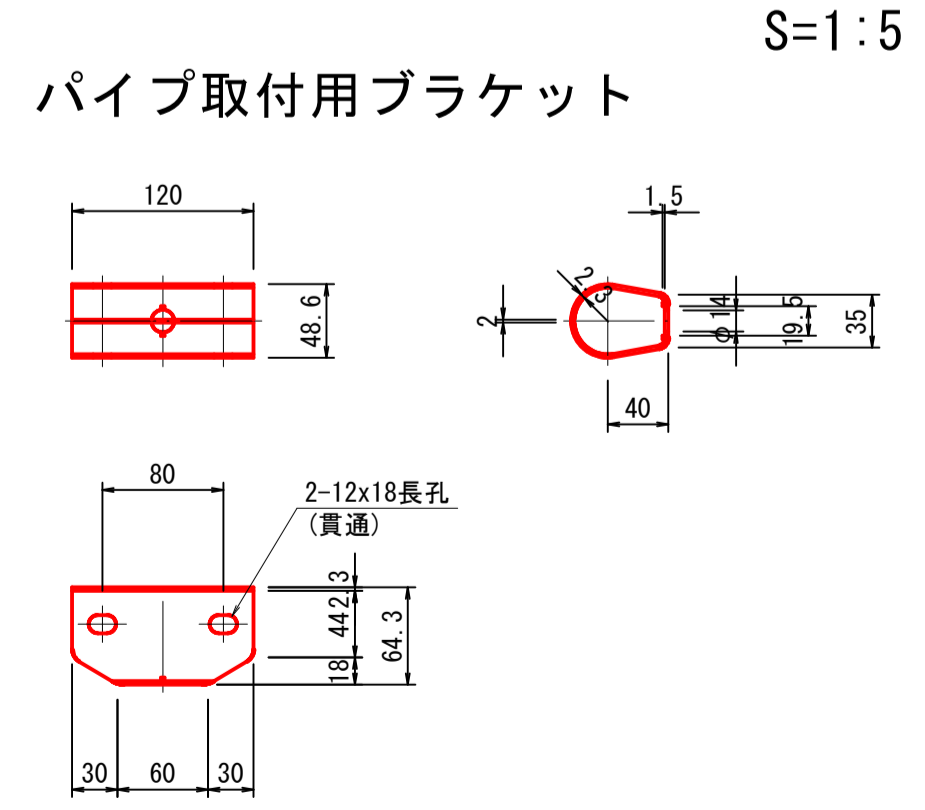
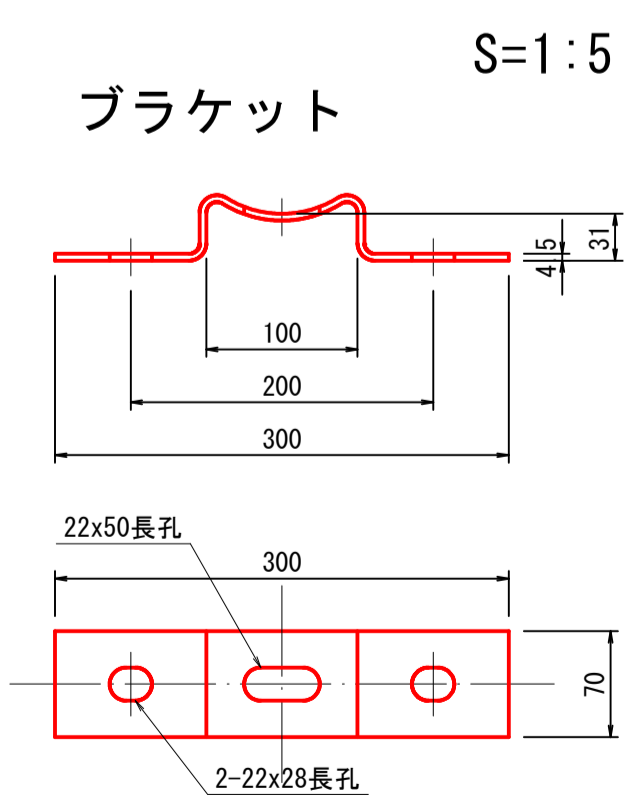
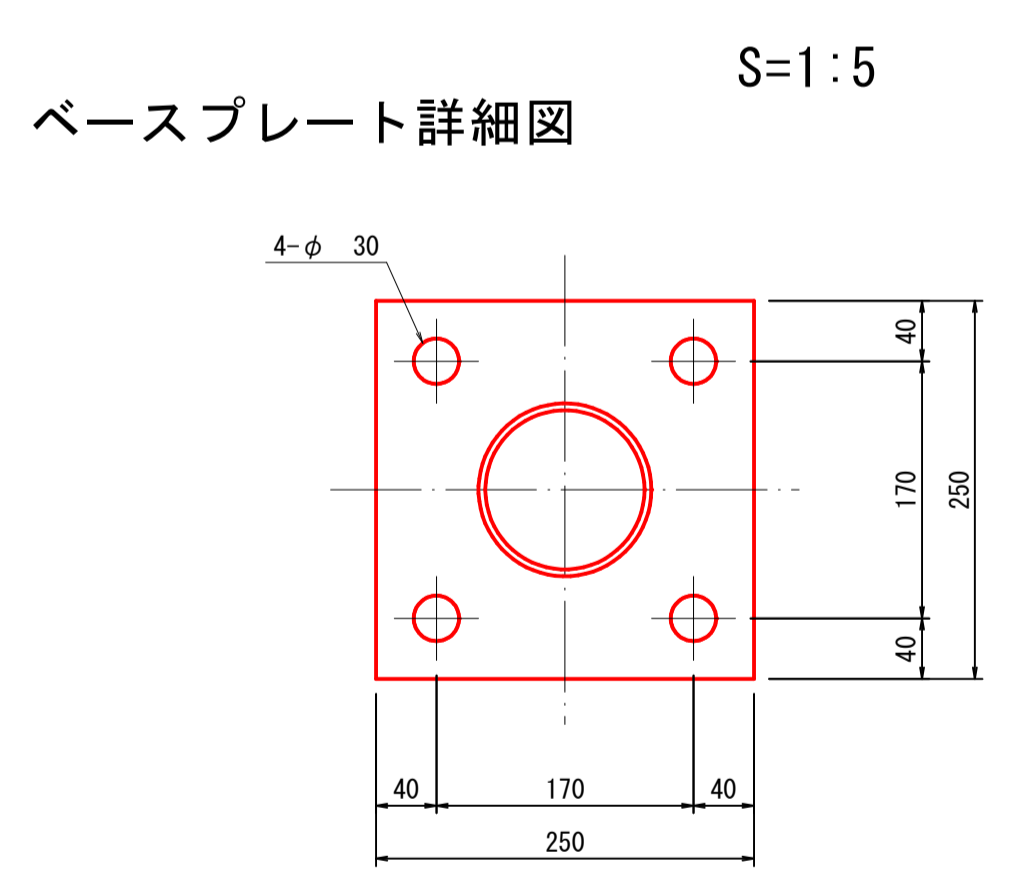
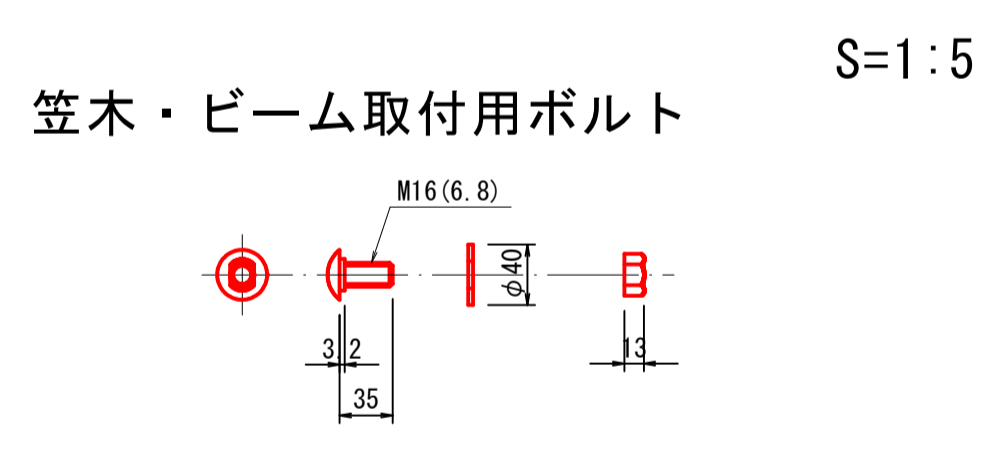
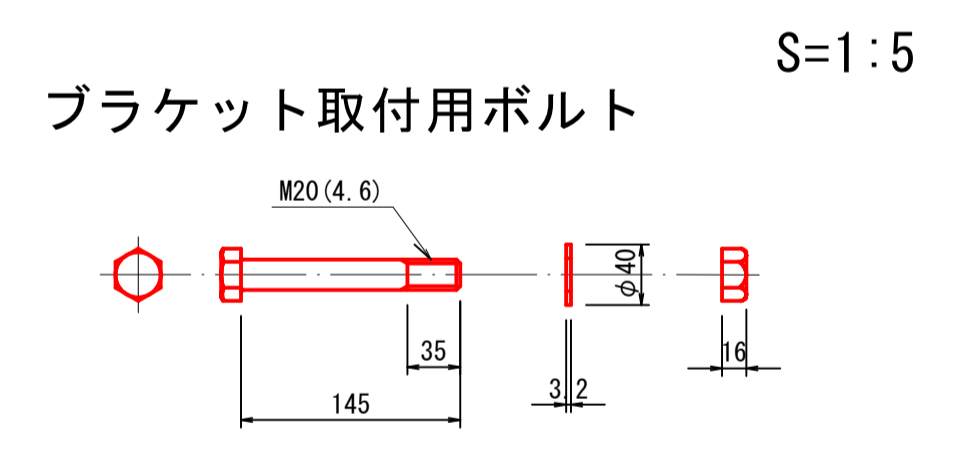
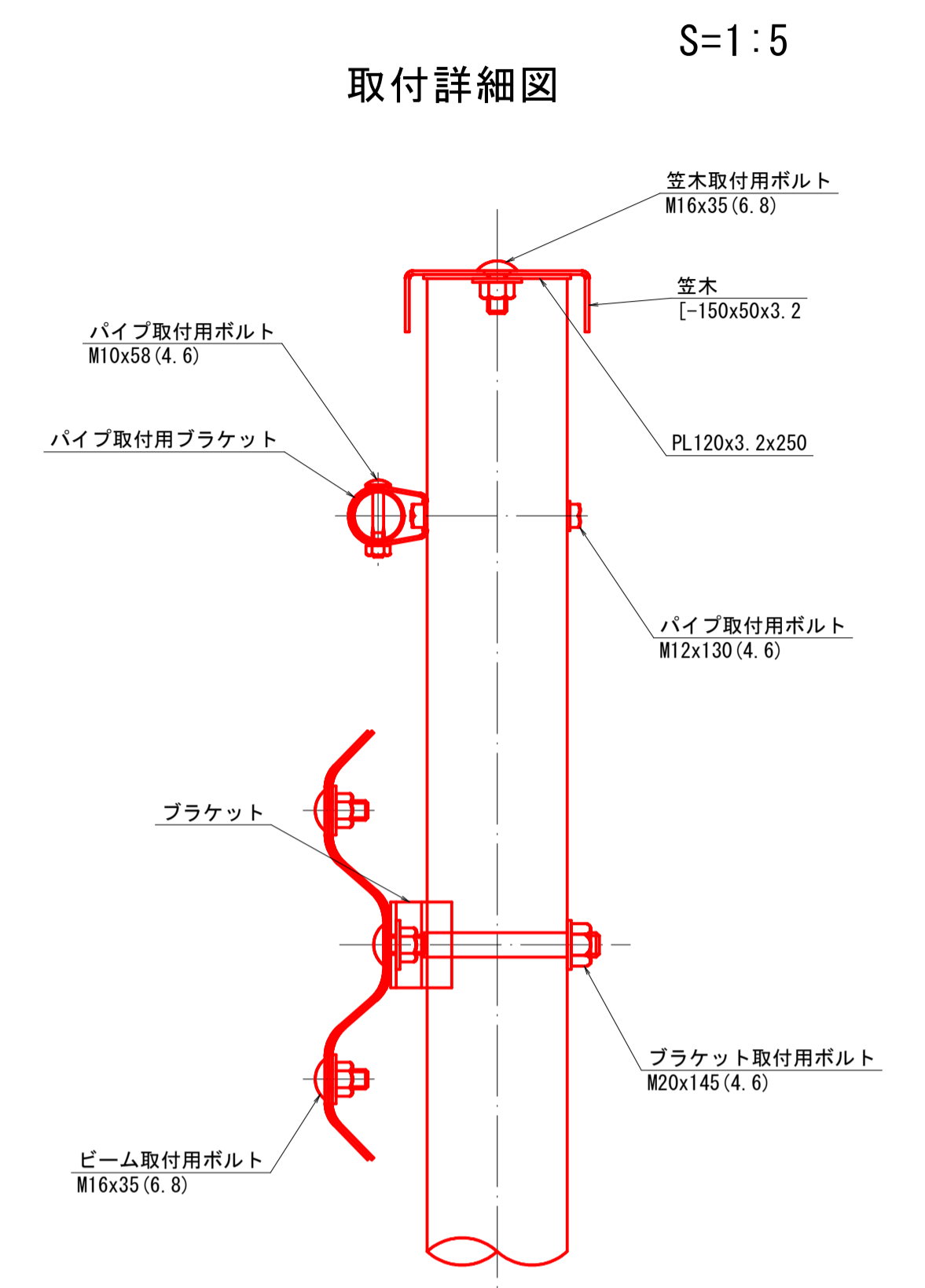
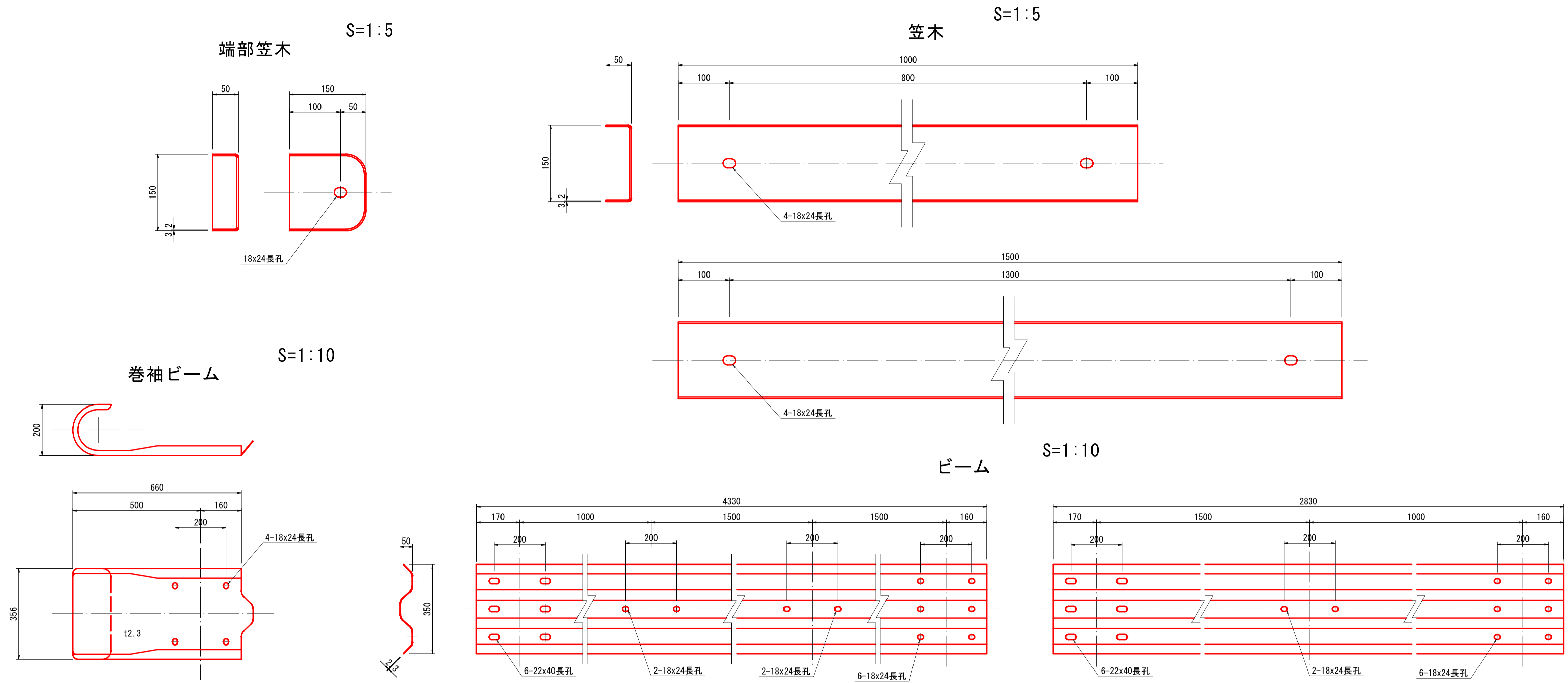
項目	計算式	単位	数量
水切り工 水切り工	※補修図(補修一般図)より $L = 19.3 + 19.3$	m	38.6

6. 仮設工

項目	計算式	単位	数量
足場工 高欄取替用足場	※積算用足場仮設図より 地覆補修足場 (TYPE-E) $A = 2.2 \times 16.0 \times 2$	m2	70.4
交通管理工 交通管理工	交通誘導員B $N =$	人	43.0



# 商蚕橋 防護柵取替工 参考図



## 材料表

品名	規格	数量	単位
ビーム	L=4330	2	枚
	L=1830	2	枚
支柱	BPL φ114.3×700	12	本
巻袖ビーム		4	枚
笠木	L=1500	6	本
	L=1000	4	本
袖笠木	L=150	4	本
ブラケット		12	個
ブラケット取付用ボルト	M20×145	12	本
笠木・ビーム取付用ボルト	M16×35	48	本
ビームパイプ	L=1500	12	本
	L=1000	8	本
パイプ取付用ブラケット		24	個
パイプ取付用ボルト	M12×130	24	本
スコッチテープ	M10×58	48	本
ケミカルアンカー	M22×230 溶鉛垂鉛めっき品	12	枚
		48	組

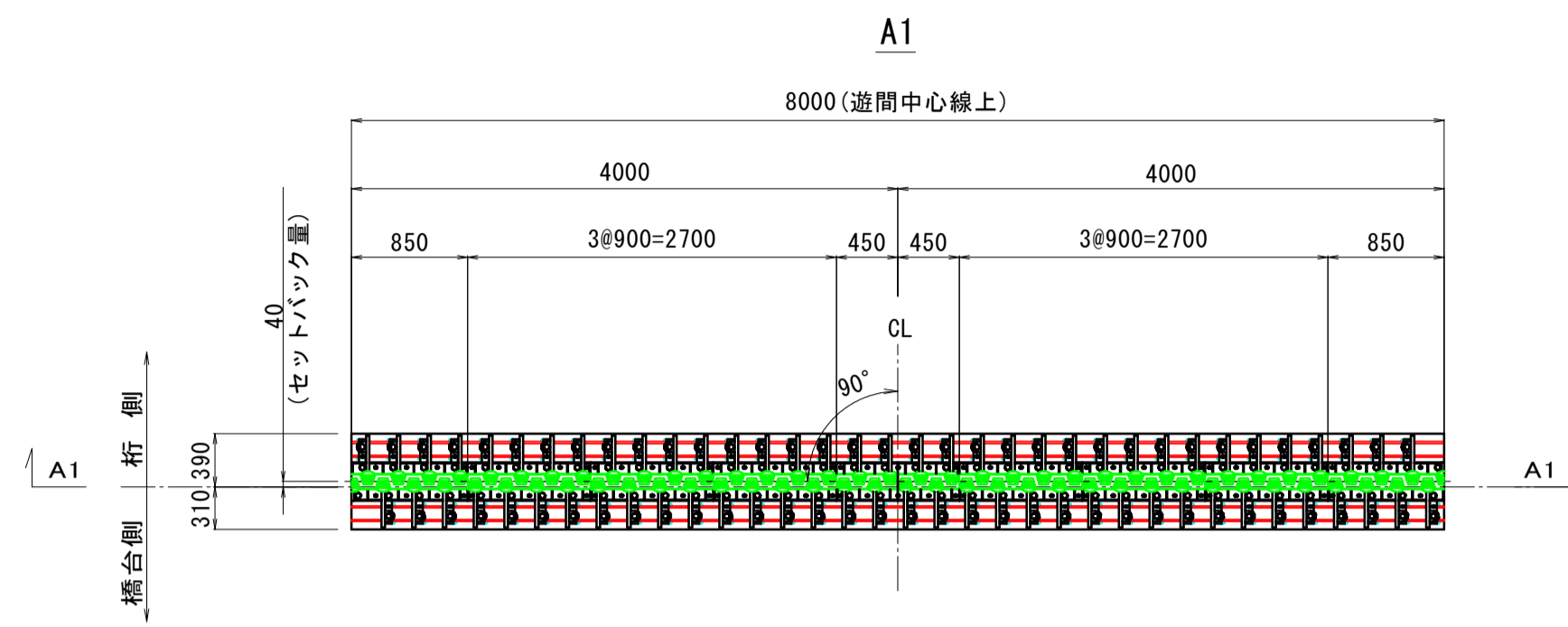
商蚕橋 (参考図)

図面番号	第 5 枚 内 2 号
図面名称	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事 商蚕橋 防護柵取替工 参考図
縮尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

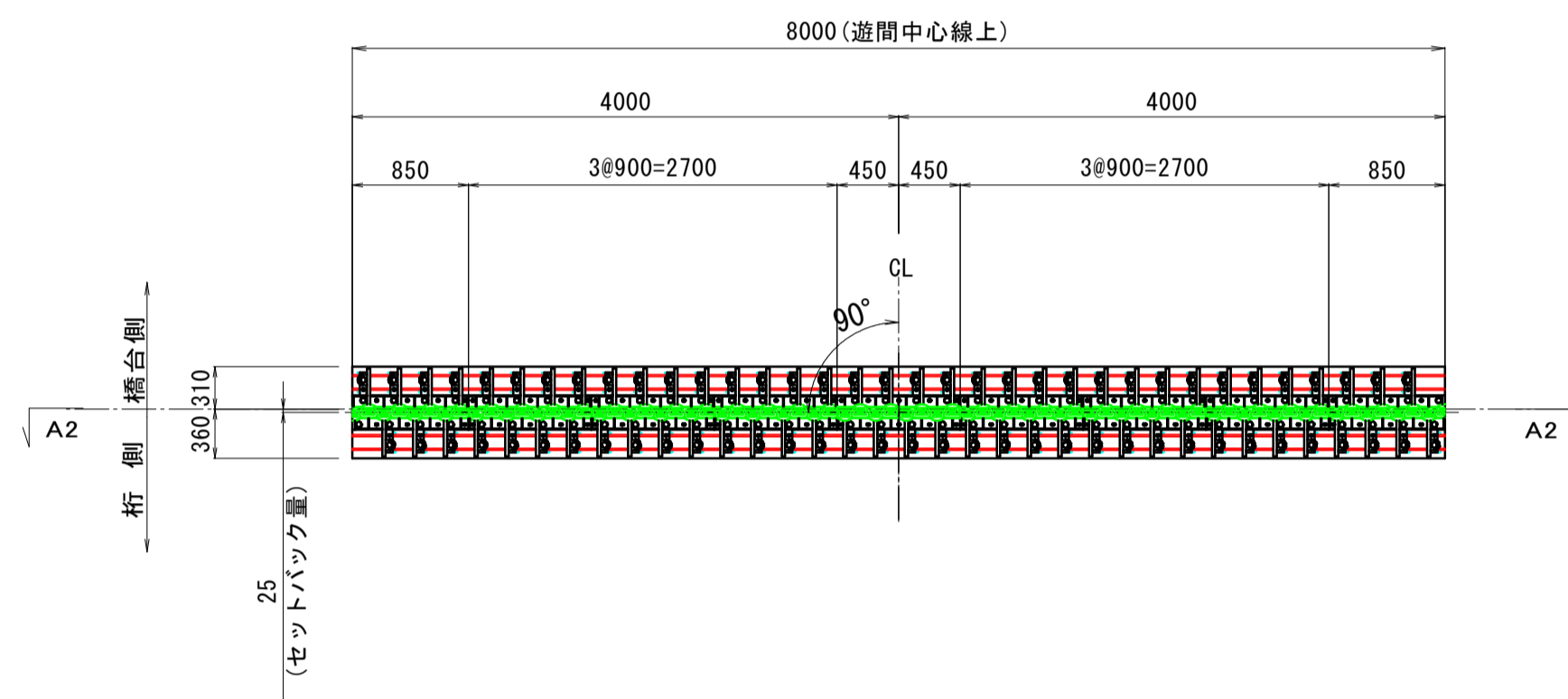
# 足尾橋 伸縮装置参考図 (その1)

A1, A2 (車道部)

配置図 S=1:50

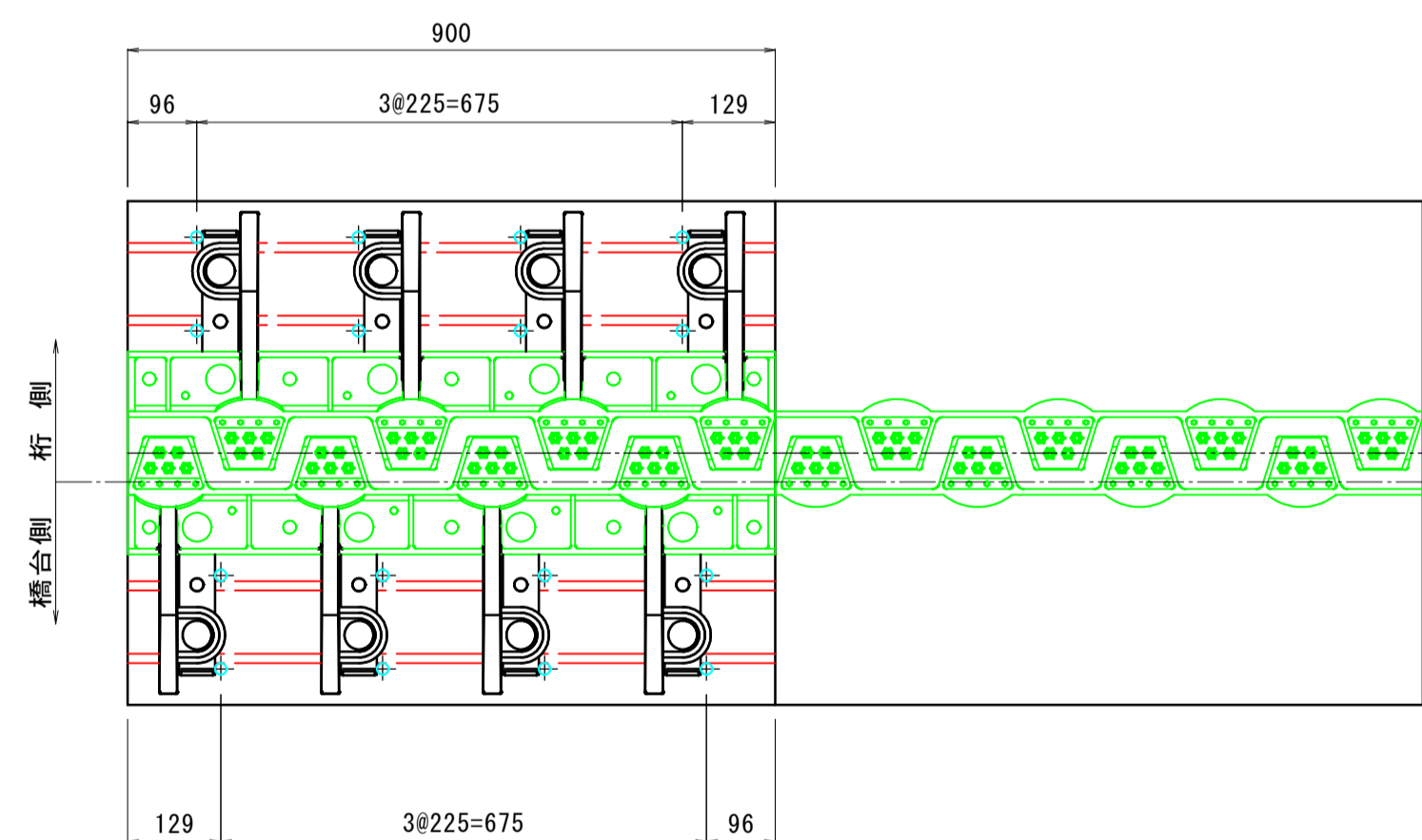


A2

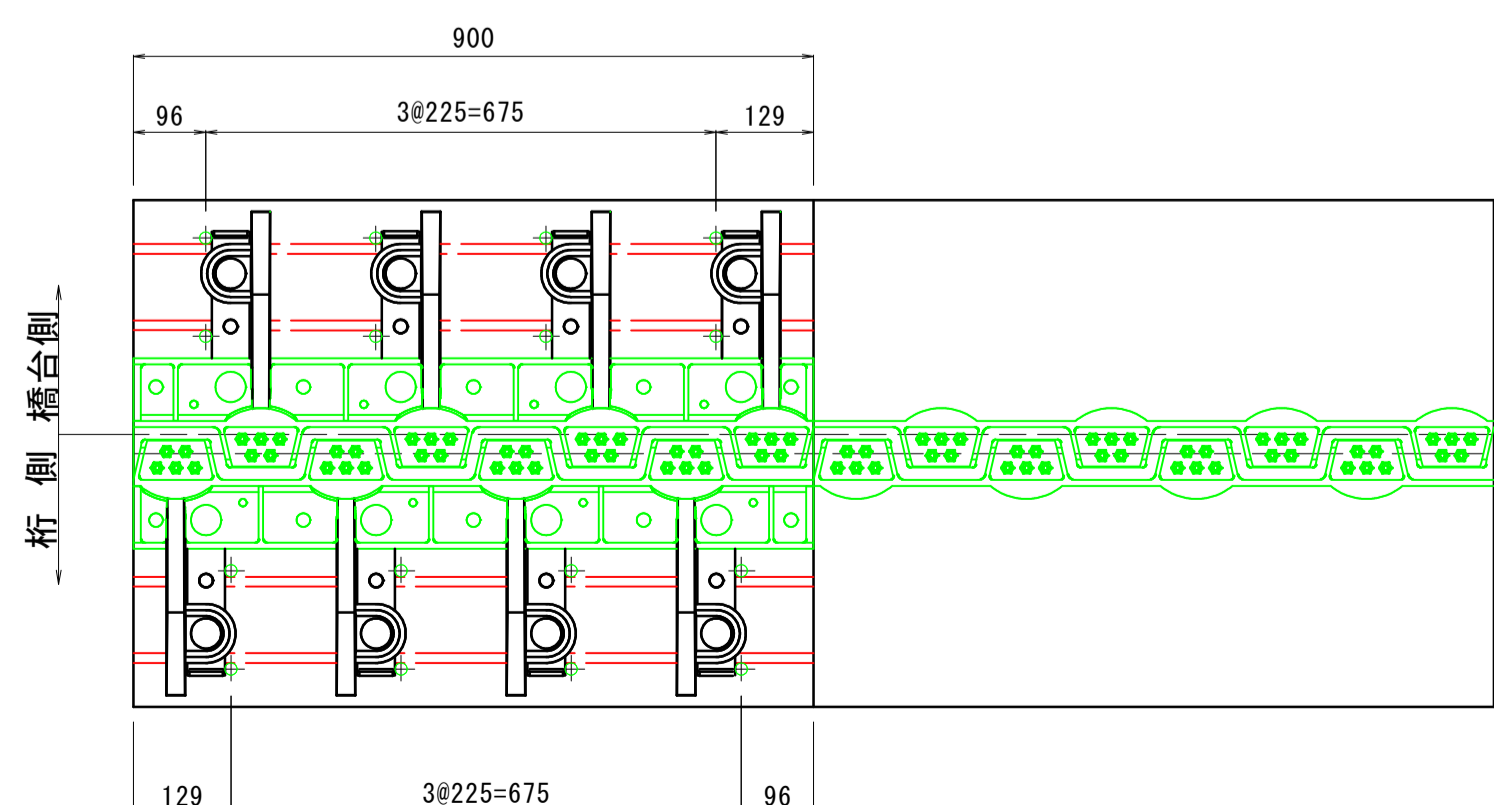


標準取付平面図 S=1:10

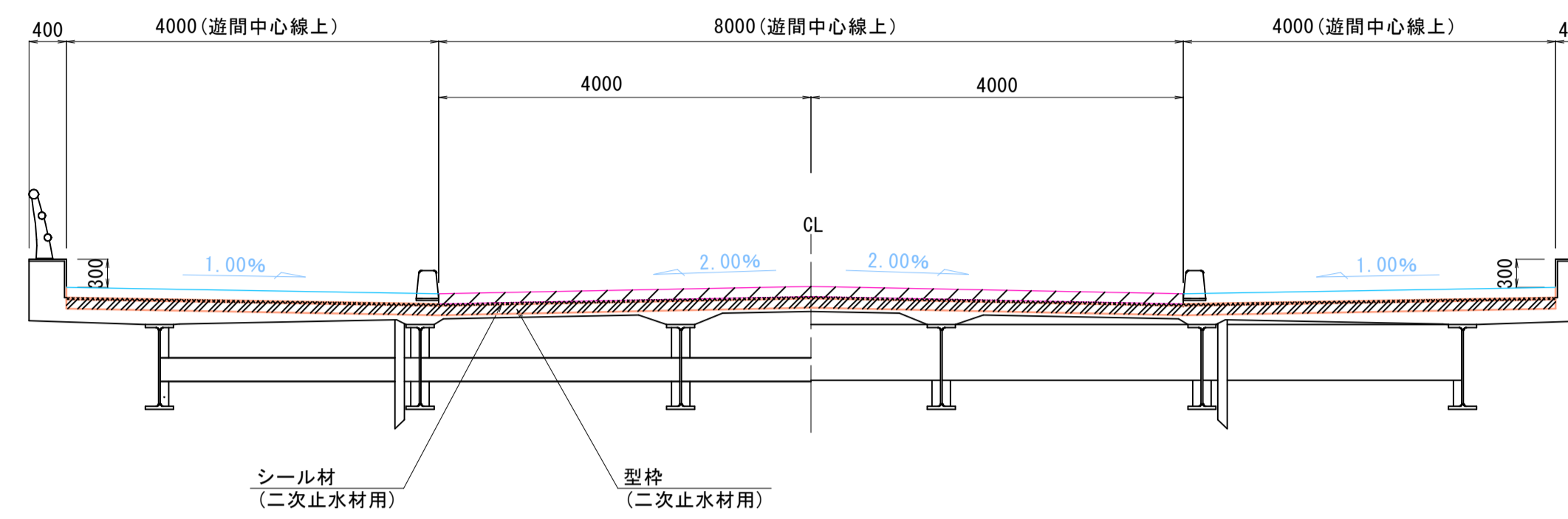
A1



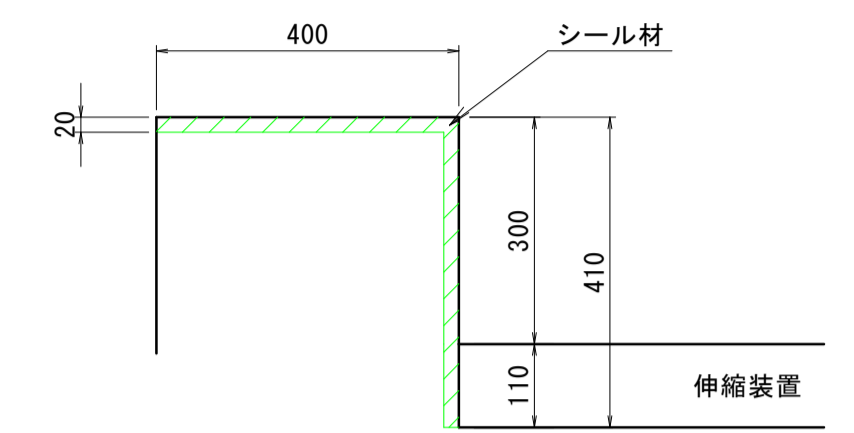
A2



横断面図 S=1:60

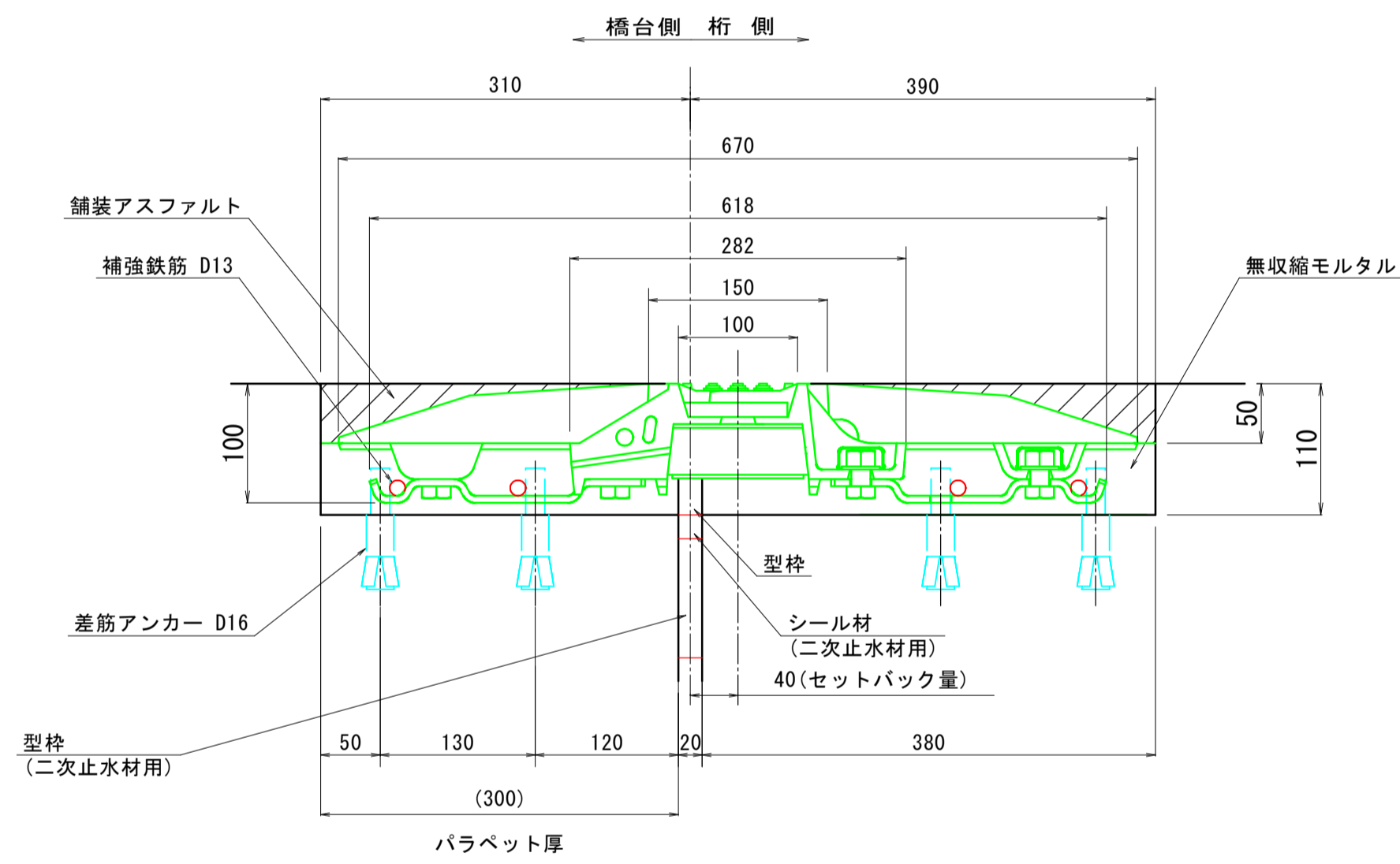


地覆部詳細図 S=1:10

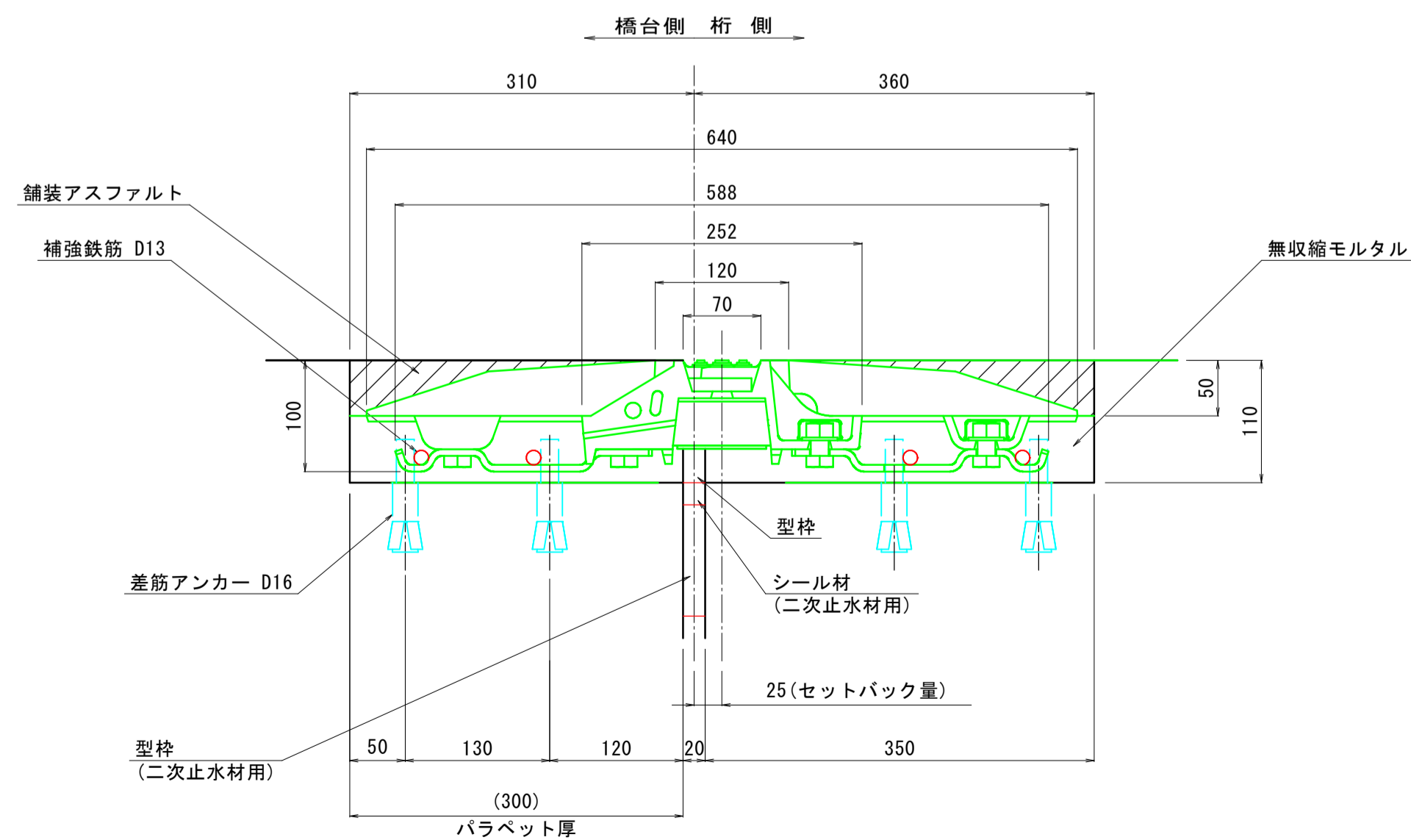


標準取付断面図 S=1:5

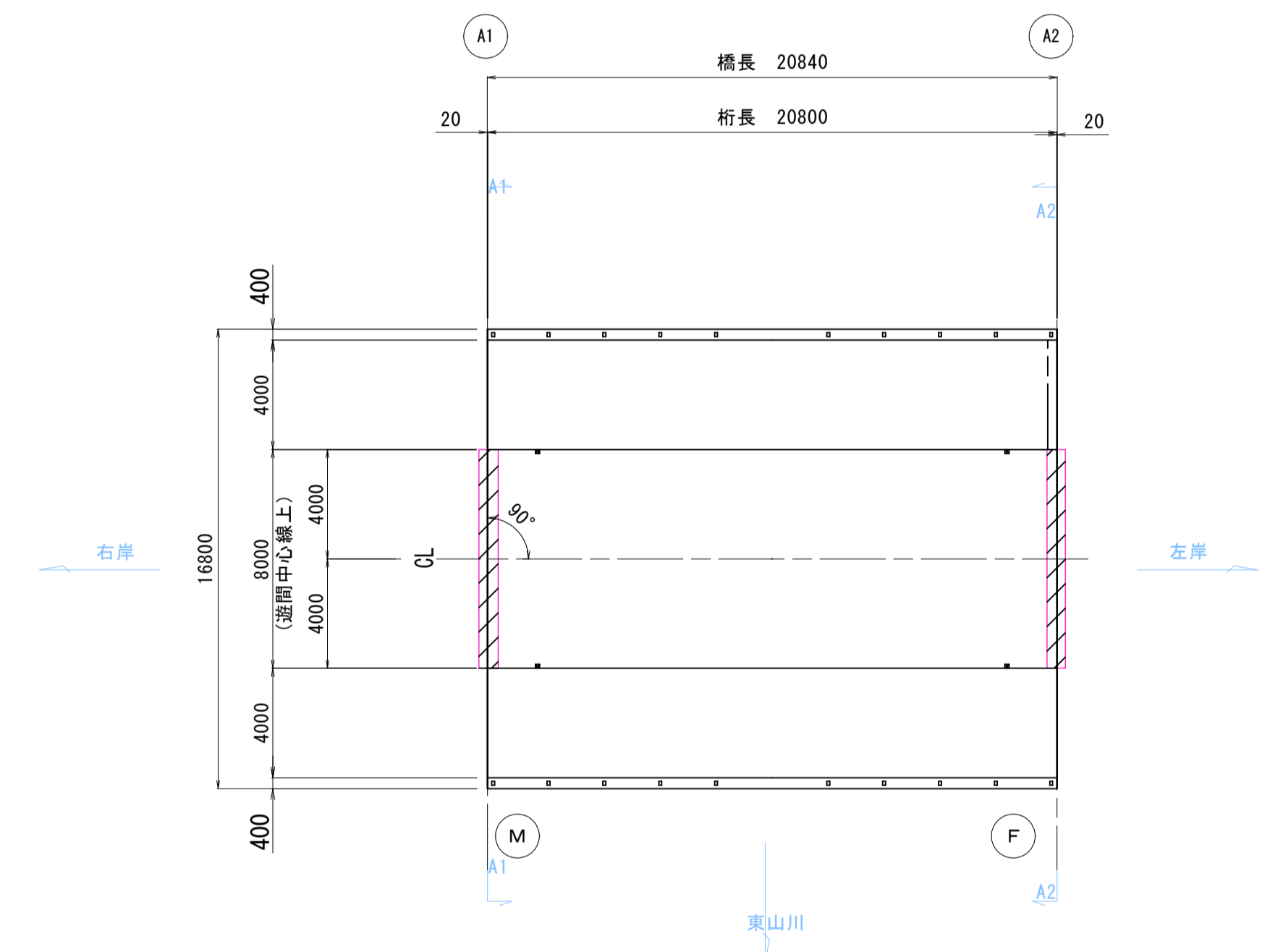
A1



A2



位置図 S=1:200



**【指示事項】**

※ 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。  
表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。  
伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。

足尾橋 (参考図)

図面番号	第 5 枚 内 3 号
図面名称	市道住の江 4 号線住宅前橋ほか 2 橋りょう補修工事 足尾橋 伸縮装置参考図 (その1)
縮 尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

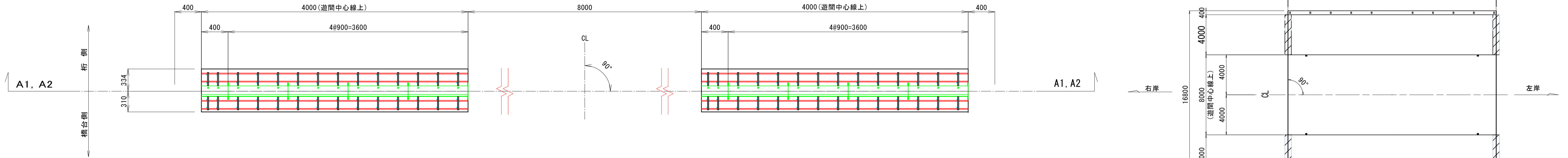
# 足尾橋 伸縮装置参考図 (その2)

A1, A2 (歩道部)

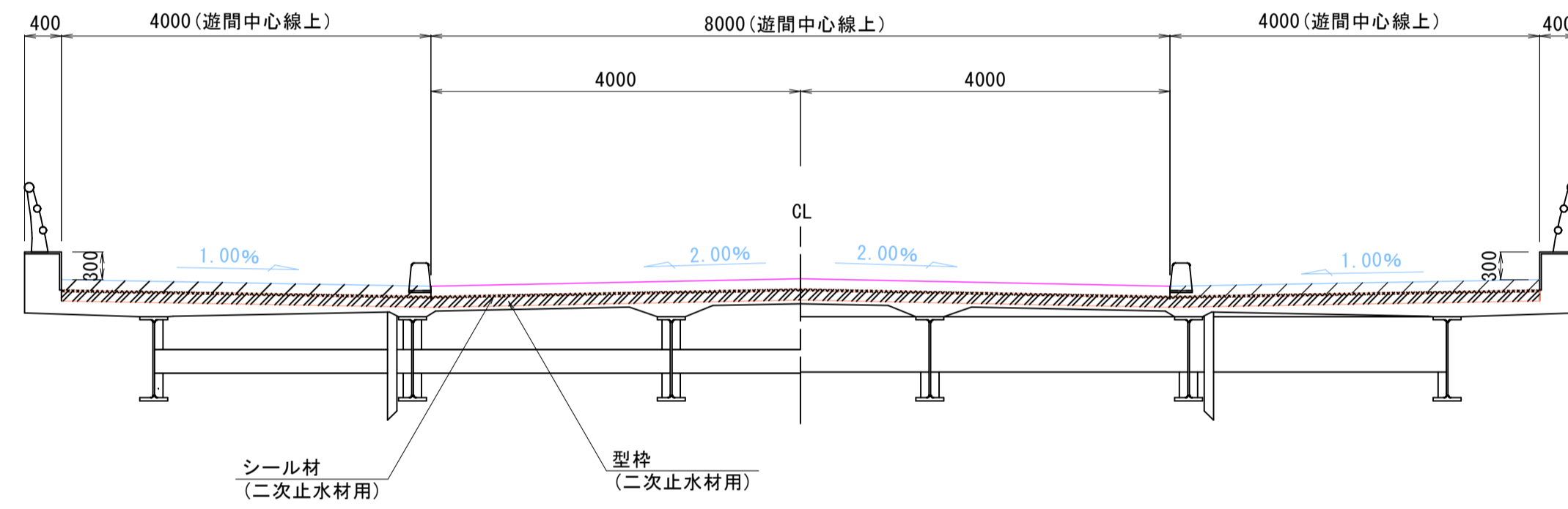
位置図 S=1:200

配置図 S=1:30

A1, A2

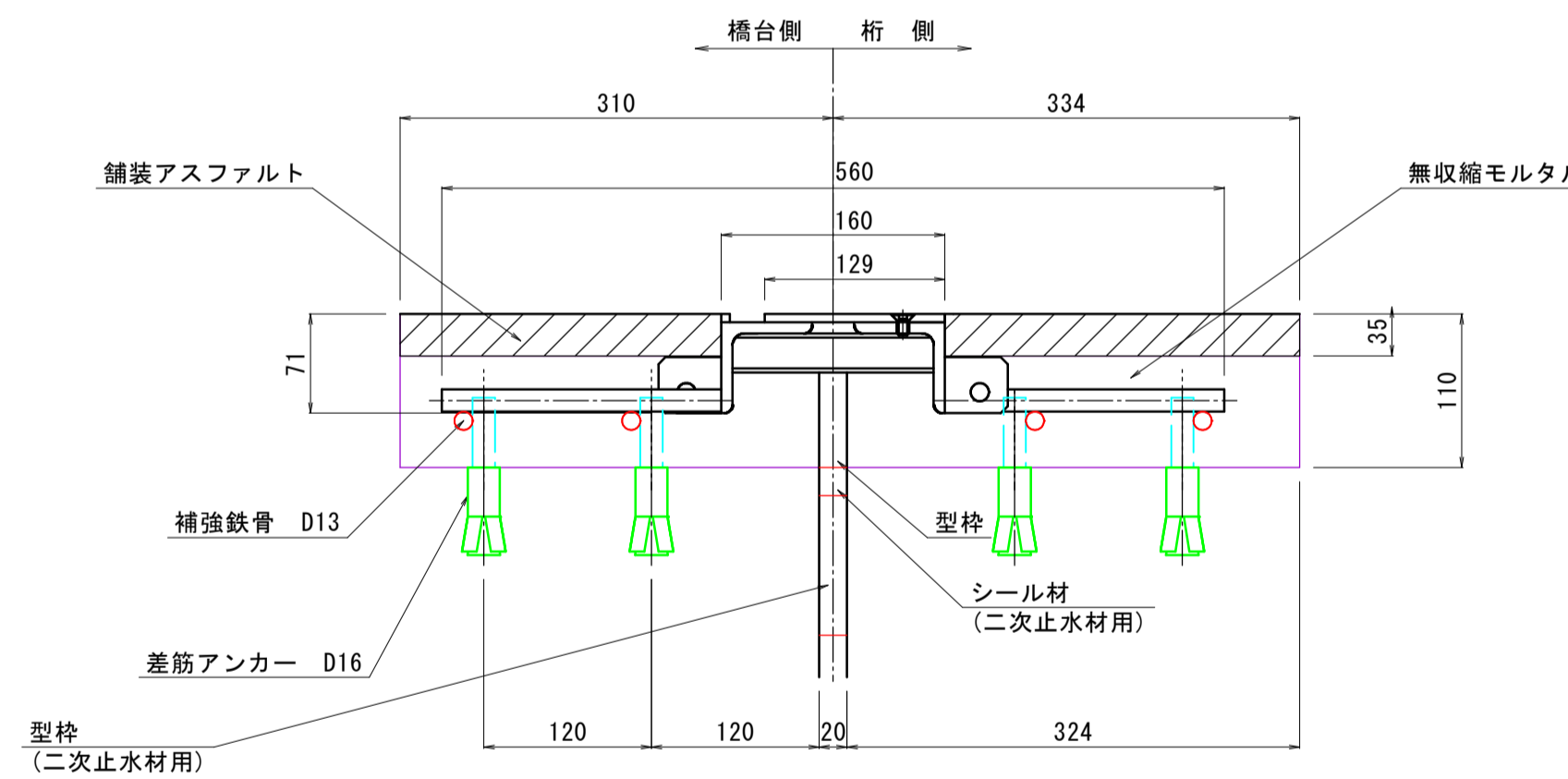


横断面図 S=1:60



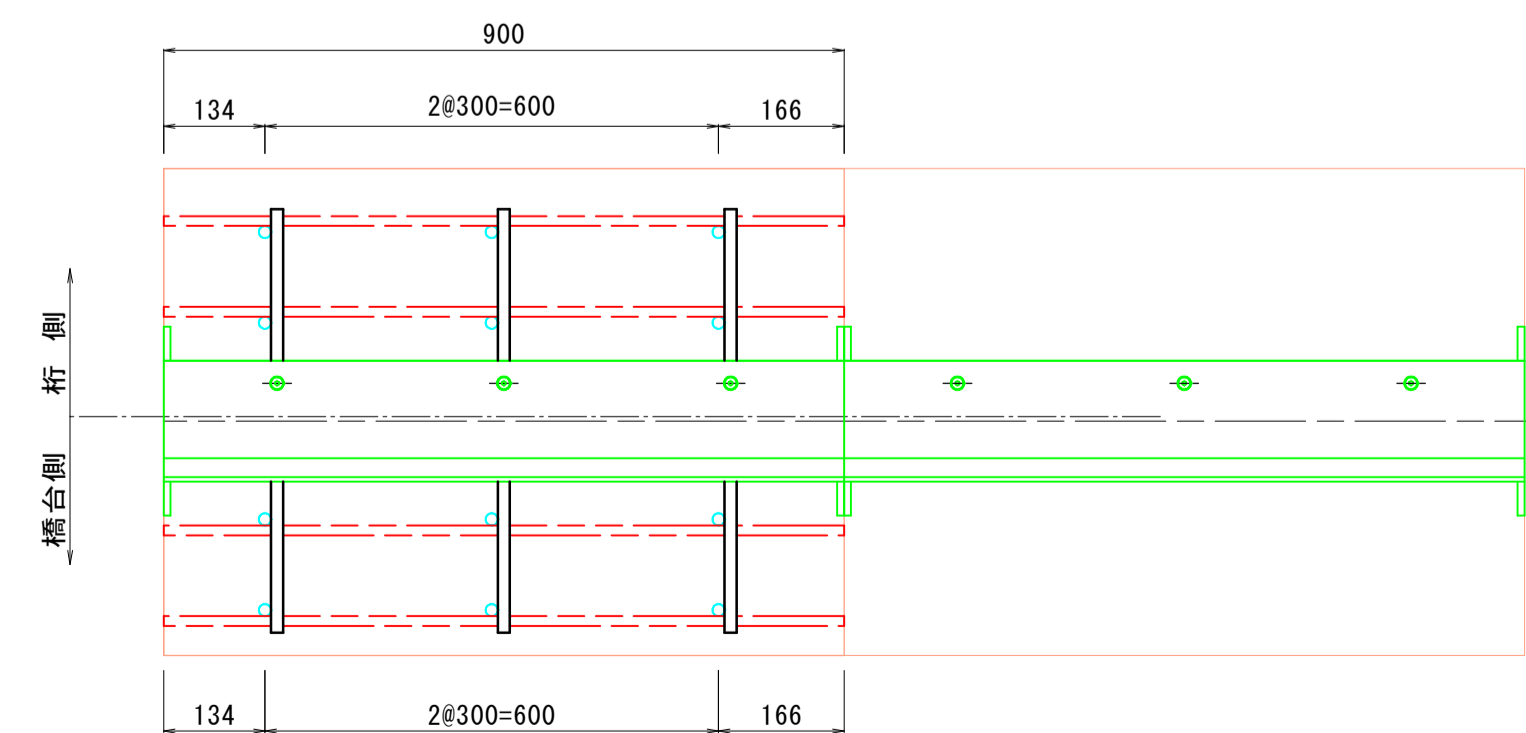
標準取付断面図 S=1:5

A1, A2



標準取付平面図 S=1:10

A1, A2



**【指示事項】**

※ 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。  
表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。  
伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。

**伸縮装置集計表**

品名	仕様・規格	単位	A1		A2		合計	備考
			車道用	歩道用	車道用	歩道用		
伸縮装置	SMJ-50	m	8.000	—	—	—	8.000	鋳鉄製・荷重支持型
	SMJ-20	m	—	—	8.000	—	8.000	
	SBH-40	m	—	8.000	—	8.000	16.000	鋼製・歩道用
二次止水 (シール材)	スカイシールF-2同等以上	l	3.20	3.20	3.20	3.20	12.80	ポリブタジエン系(ブラック)
二次止水 (シール材) 用プライマー	プライマーU同等以上	g	64.00	64.00	64.00	64.00	256.00	標準塗布量200g/m <sup>2</sup>
型枠 (軟質ウレタンフォーム)	伸縮装置部	m	8.000	8.000	8.000	8.000	32.000	断面寸法は数量計算書を参照のこと
	地覆部	m	1.620	—	1.620	—	3.240	
	二次止水 (シール材) 部	m	8.000	8.000	8.000	8.000	32.000	
シール材 (伸縮装置部用)	接続部	ml	126.84	73.00	112.32	73.00	385.16	ブラック
	中央部・端部	m	237.83	182.00	210.60	182.00	812.43	
	計	m	364.67	255.00	322.92	255.00	1197.59	
シール材 (地覆部用)		l	0.65	—	0.65	—	1.30	
シール材 (地覆部用) 用プライマー		g	12.80	—	12.80	—	25.60	標準塗布量200g/m <sup>2</sup>
補強鉄筋	4-D13×8.00	kg	31.84	—	31.84	—	63.68	0.995kg/m
	8-D13×4.00	m	—	31.84	—	31.84	63.68	
	計	m	31.84	31.84	31.84	31.84	127.36	
差筋アンカー	D16	本	140	112	140	112	504	
無収縮モルタル	σ <sub>ck</sub> =24N/mm <sup>2</sup> 以上	m <sup>3</sup>	0.328	0.400	0.312	0.400	1.440	
アスファルト		m	0.232	0.120	0.232	0.120	0.704	

型式	規格	単位	A1		A2		合計	備考
			車道用	歩道用	車道用	歩道用		
HDJ-CVJ-R40同等以上	定尺 (L=900)	本	6	—	—	—	6	鋳鉄製・荷重支持型
	端部 (L=450)	m	2	—	—	—	2	
	端部	m	2	—	—	—	2	
HDJ-CVJ-R20同等以上	定尺 (L=900)	m	—	—	6	—	6	鋼製・歩道用
	端部 (L=450)	m	—	—	2	—	2	
	端部	m	—	—	2	—	2	
HSJ-SW-R40同等以上	定尺 (L=900)	m	—	8	—	8	16	
	端部	m	—	2	—	2	4	

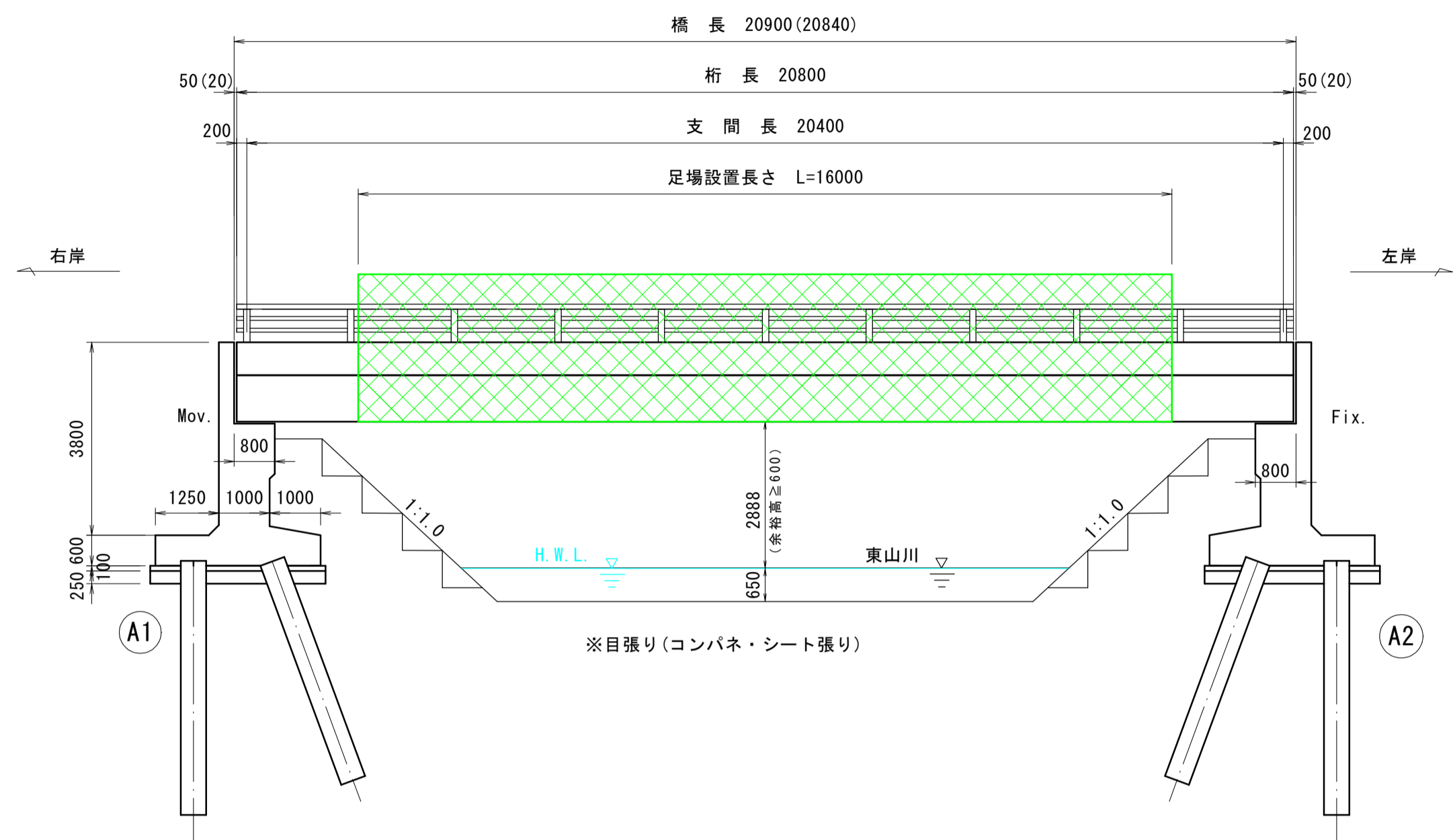
**足尾橋 (参考図)**

図面番号	第 5 枚 内 4 号
図面名称	市道住の江 4号線住宅前橋ほか2橋りよう補修工事 足尾橋 伸縮装置参考図 (その2)
縮 尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

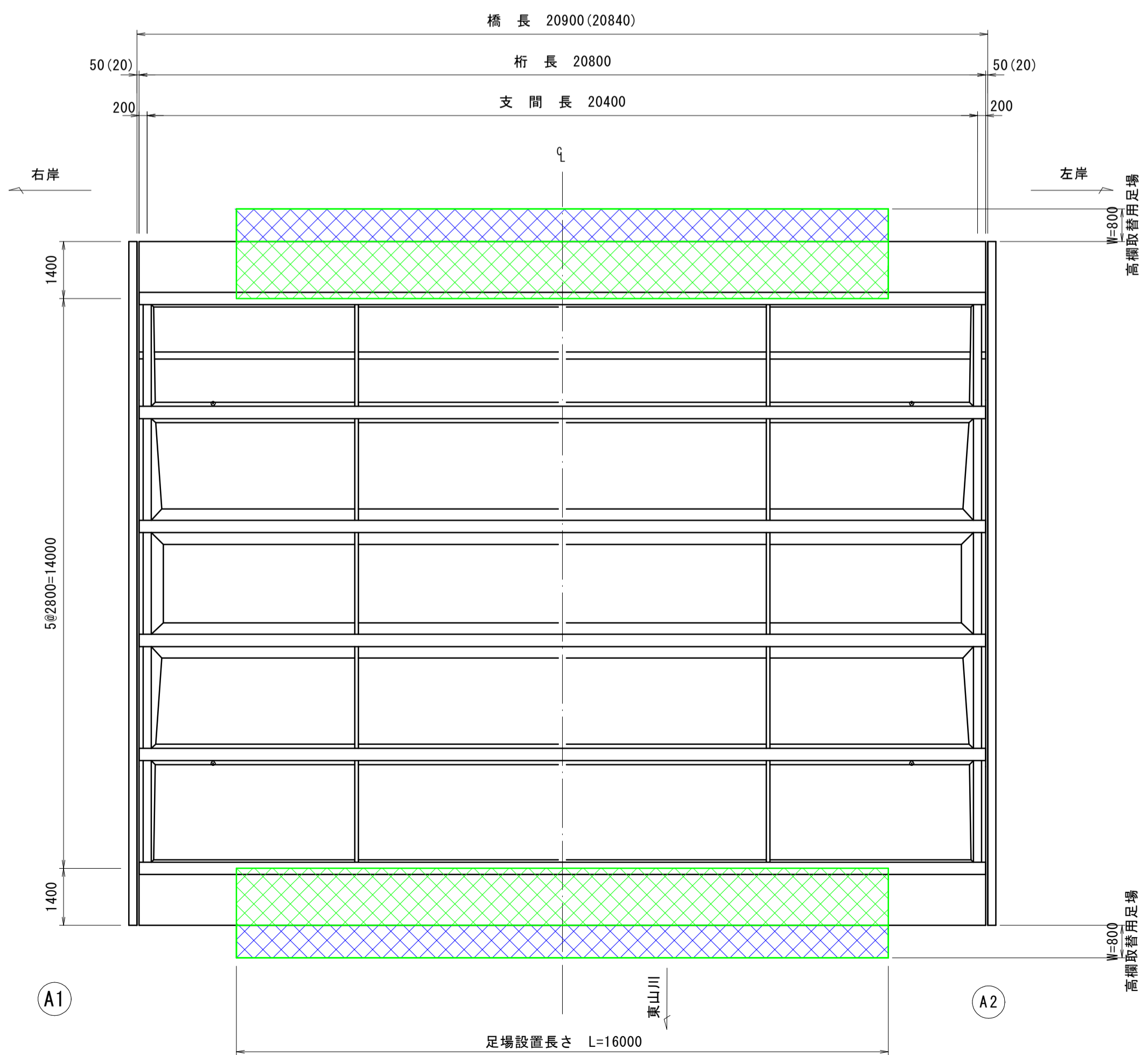
# 足尾橋 積算用足場仮設図

〈塗替塗装・高欄取替用足場〉

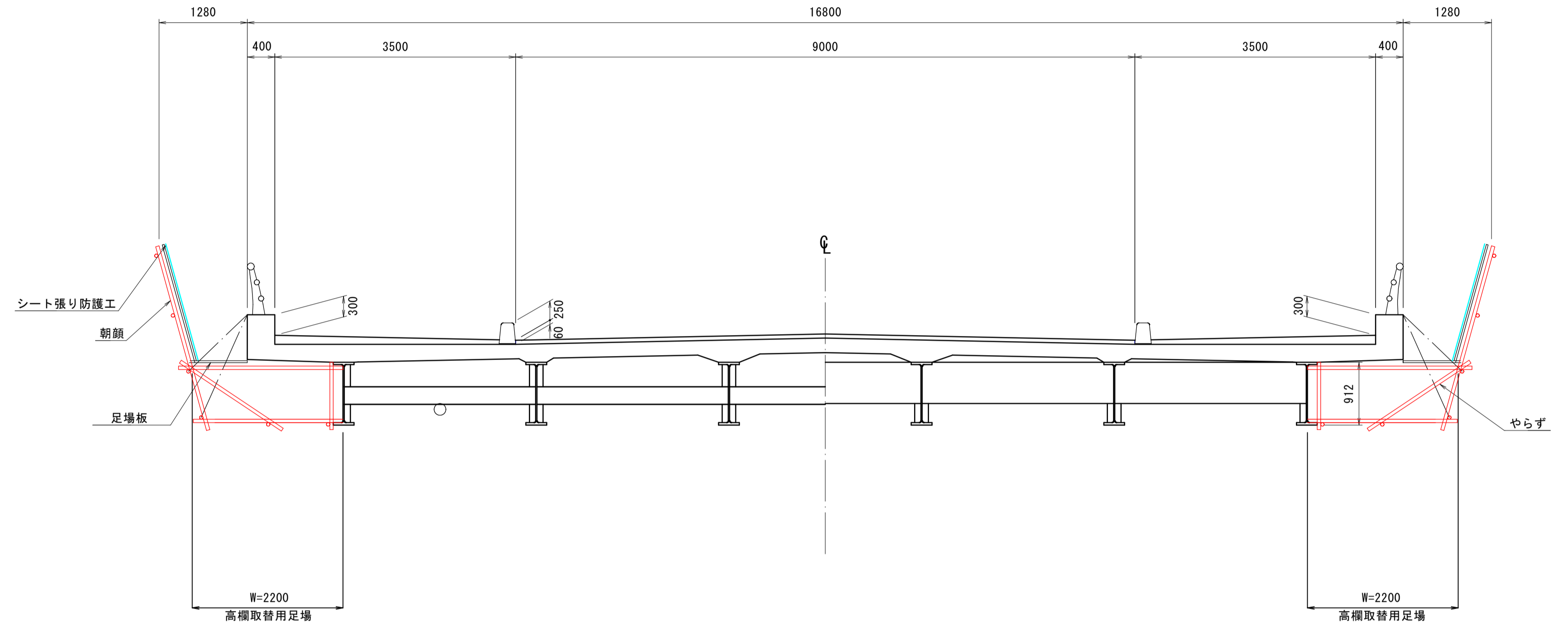
側面図 S=1:100



平面図 S=1:100



足場仮設断面図 S=1:50



注) シートのつなぎ部はラップさせてゴムテープ、ホッチキスなどで隙間を止める。

仮設工 数量用

工種	規格	単位	数量
高欄取替用足場	地覆補修足場	m <sup>2</sup>	70.4

足尾橋 (参考図)

図面番号	第 5 枚 内 5 号
図面名称	市道住の江 4 号線住宅前橋ほか 2 橋りよう補修工事 足尾橋 積算用足場仮設図
縮尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	